

2025年度 第3回大阪府・大阪市経済動向報告会

# 最近の大阪経済の動向

2025年11月17日(月)14:20～15:00

大阪産業創造館6階 A/B会議室

大阪府商工労働部 商工労働総務課 天野敏昭  
(大阪産業経済リサーチセンター)

[AmanoTo@mbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:AmanoTo@mbox.pref.osaka.lg.jp)

# 内容

□景気・業況判断(大阪府・全国)

□各指標

- ・大阪府景気観測調査ほか

- ・需要面(消費、投資、貿易・輸出)

- ・供給面(生産、雇用、倒産・資金繰り、賃金・物価)

□経営課題・企業経営の見通し

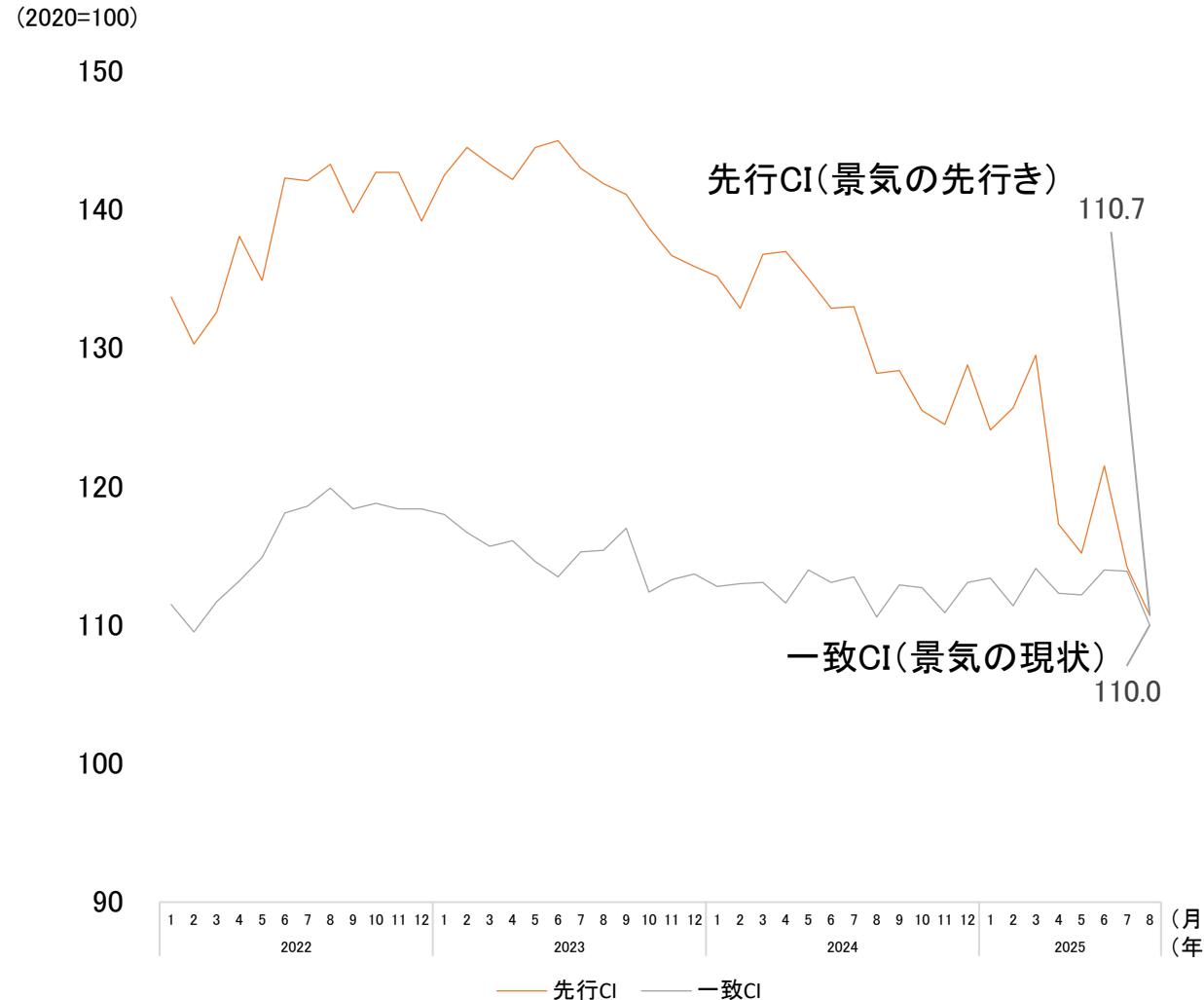
□今後の見通し

# 景気・業況判断(大阪府・全国)

基調判断・総括判断	
大阪経済の情勢 (大阪府)	<p>【2025年1月公表分】(生産動向で一進一退の弱い動きなど) 大阪経済は、持ち直しの動きに一服感がみられる</p> <p>【2025年2月公表分以降(上方修正)】(消費の堅調な推移などが背景) 大阪経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している</p>
大阪府景気観測調査 (大阪府)	<p>【2024年10～12月期】景気は、緩やかに持ち直している</p> <p>【2025年1～3月期(下方修正)】景気は、一服感</p> <p>【2025年4～6月期、7～9月期(据え置き)】景気は、一服感が続く</p>
「月例経済報告」 (内閣府)	<p>【2025年3月】景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している</p> <p>【2025年4・5・6月(表現変更)】 景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる</p> <p>【2025年7・8月(表現変更)】 景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している</p> <p>【2025年9月・10月(表現変更)】 景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している</p>

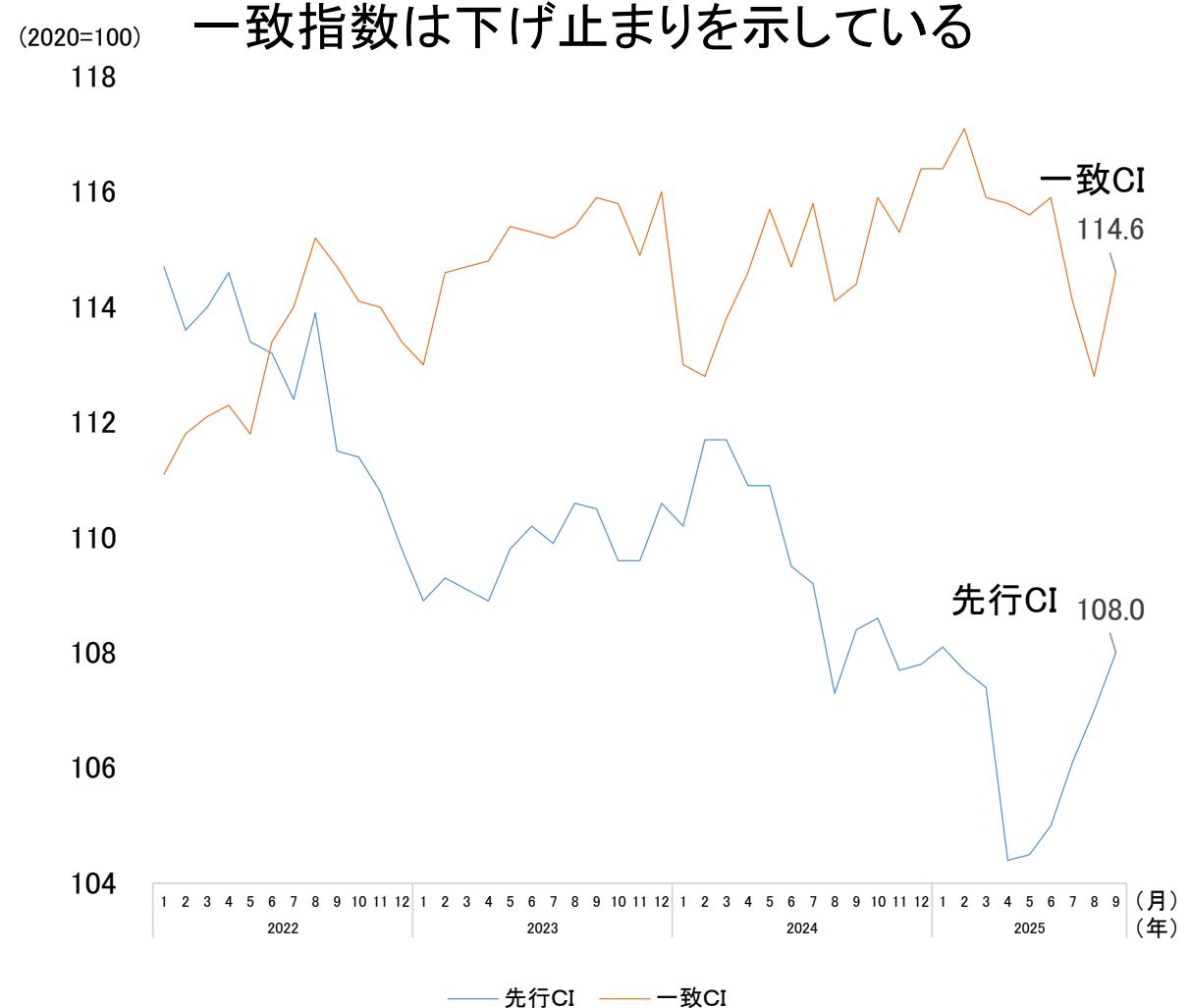
# 総合:景気動向指数・CI

## 景気動向指数(大阪府)



## 景気動向指数(全国)

一致指数は下げ止まりを示している



出所：大阪府商工労働部「景気動向指数」

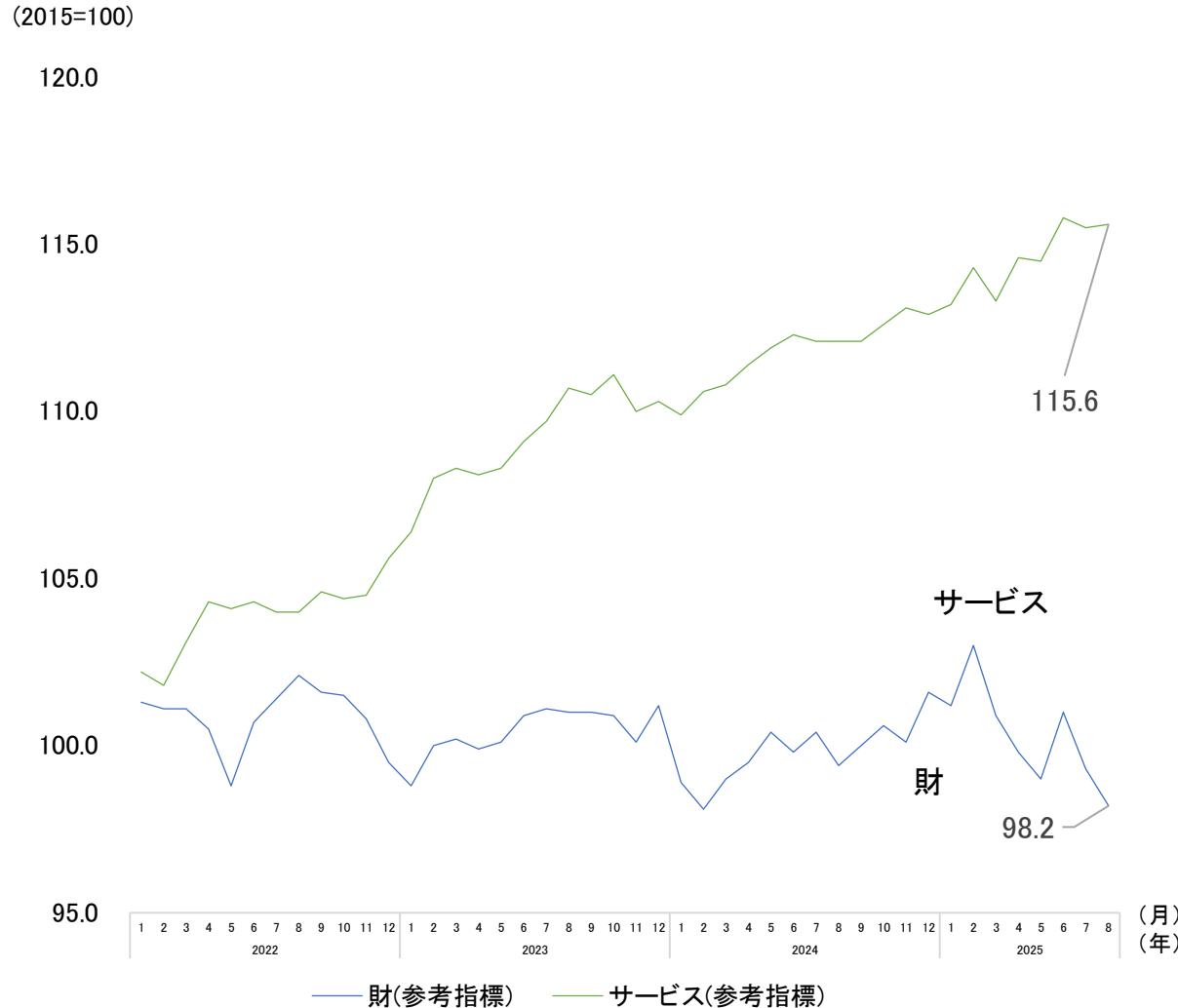
出所:内閣府「景気動向指数」

# 第3次産業の動き(一致指数)

景気を把握するための新しい一致指数  
(2か月連続下降)



財・サービス別(参考指標)

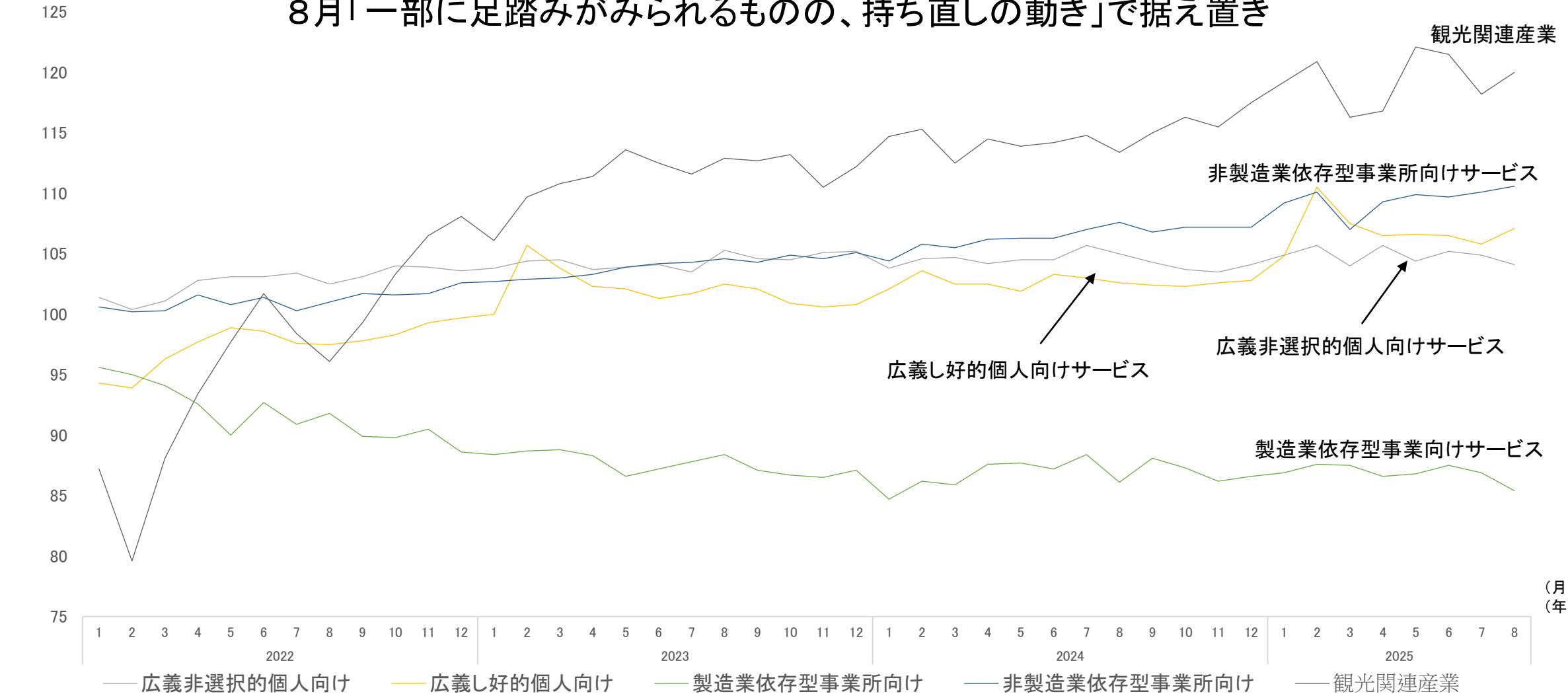


# 第3次産業の動き(活動指数)

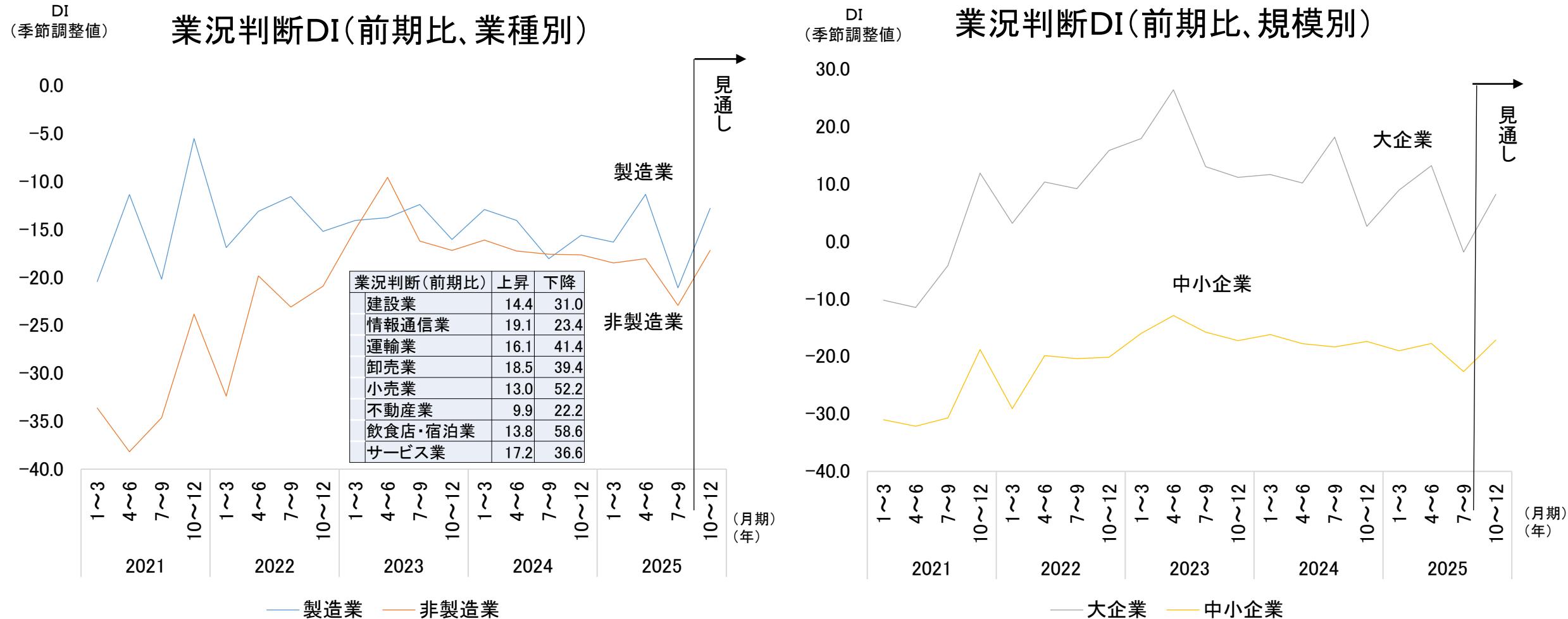
(2019-2020年平均=100)

## 第3次産業活動指数(経済産業省)

8月「一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動き」で据え置き



# 大阪府景気観測調査(業況推移)



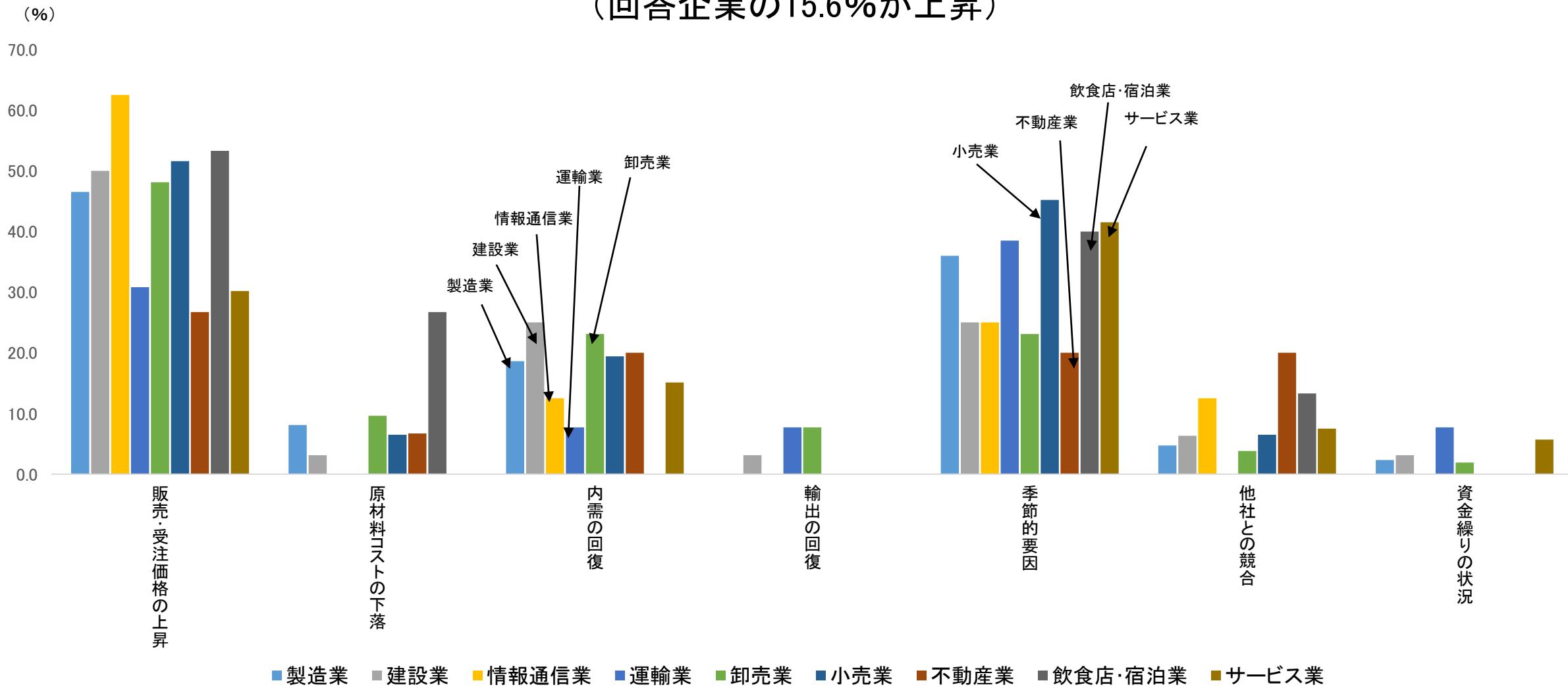
出所:大阪府商工労働部「大阪府景気観測調査」

調査概要:直近の7~9月期は、府内の民営事業所6,500社を対象に、2025年8月30日~9月16日に実施。2,038社が回答(大企業5.1%、中小企業94.9%／製造業26.7%、非製造業73.3%)。

DI(Diffusion Index):「上昇又は増加等の企業割合(%)」から「下降、下落又は減少等の企業割合(%)」を差し引いたもので、プラスなら、上昇・増加等の企業割合が上回ることを示す。

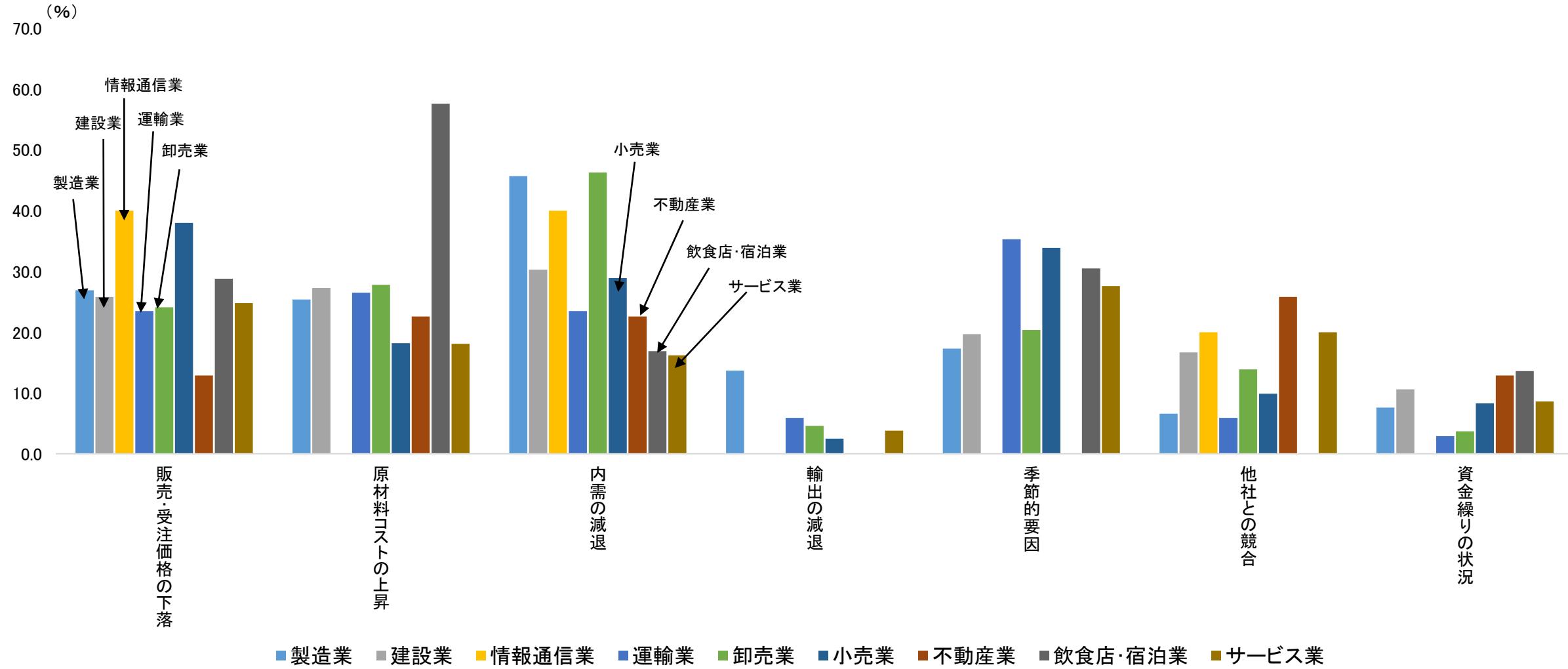
# 大阪府景気観測調査(業況判断要因)

業況判断が上昇となった要因(その他の要因を除く)  
(回答企業の15.6%が上昇)

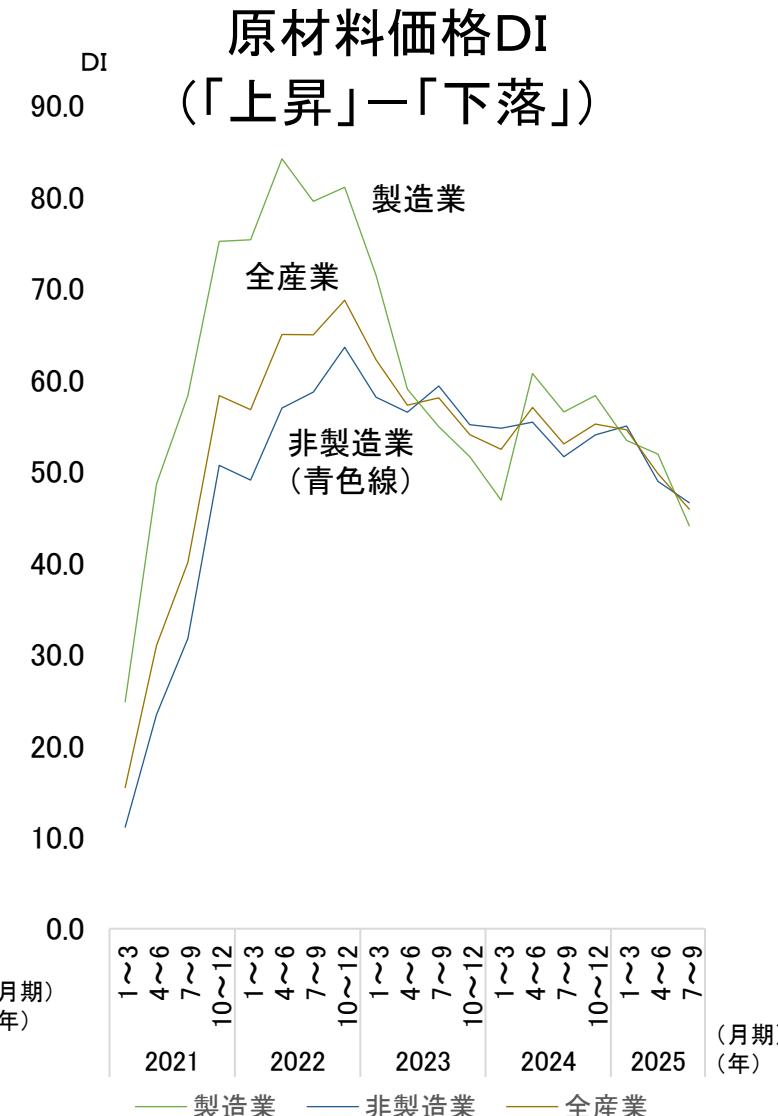
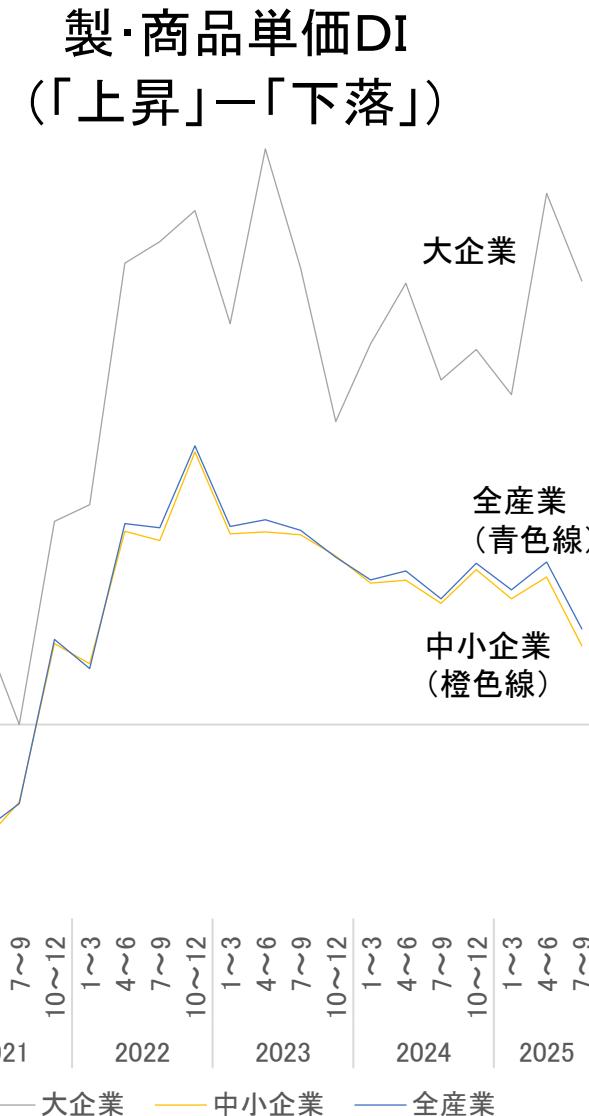
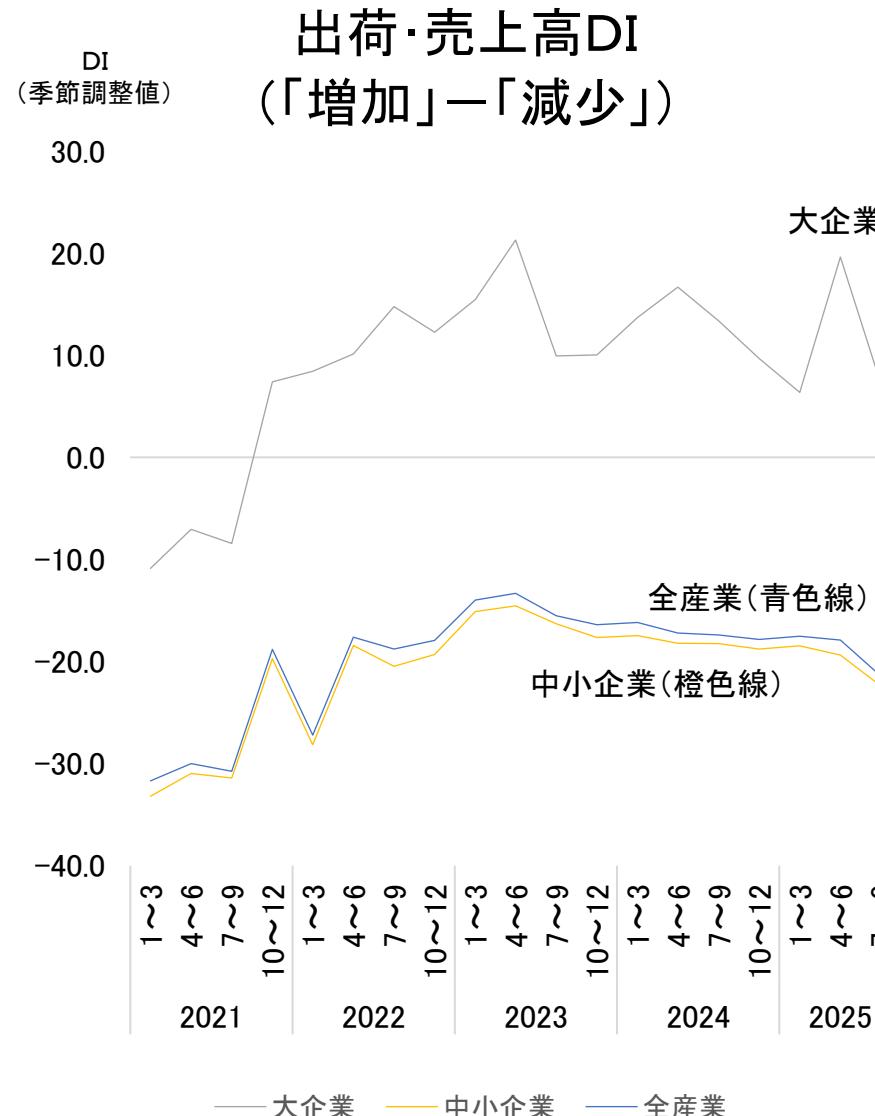


# 大阪府景気観測調査(業況判断要因)

業況判断が下降となった要因(その他の要因を除く)  
(回答企業の38.8%が下降)

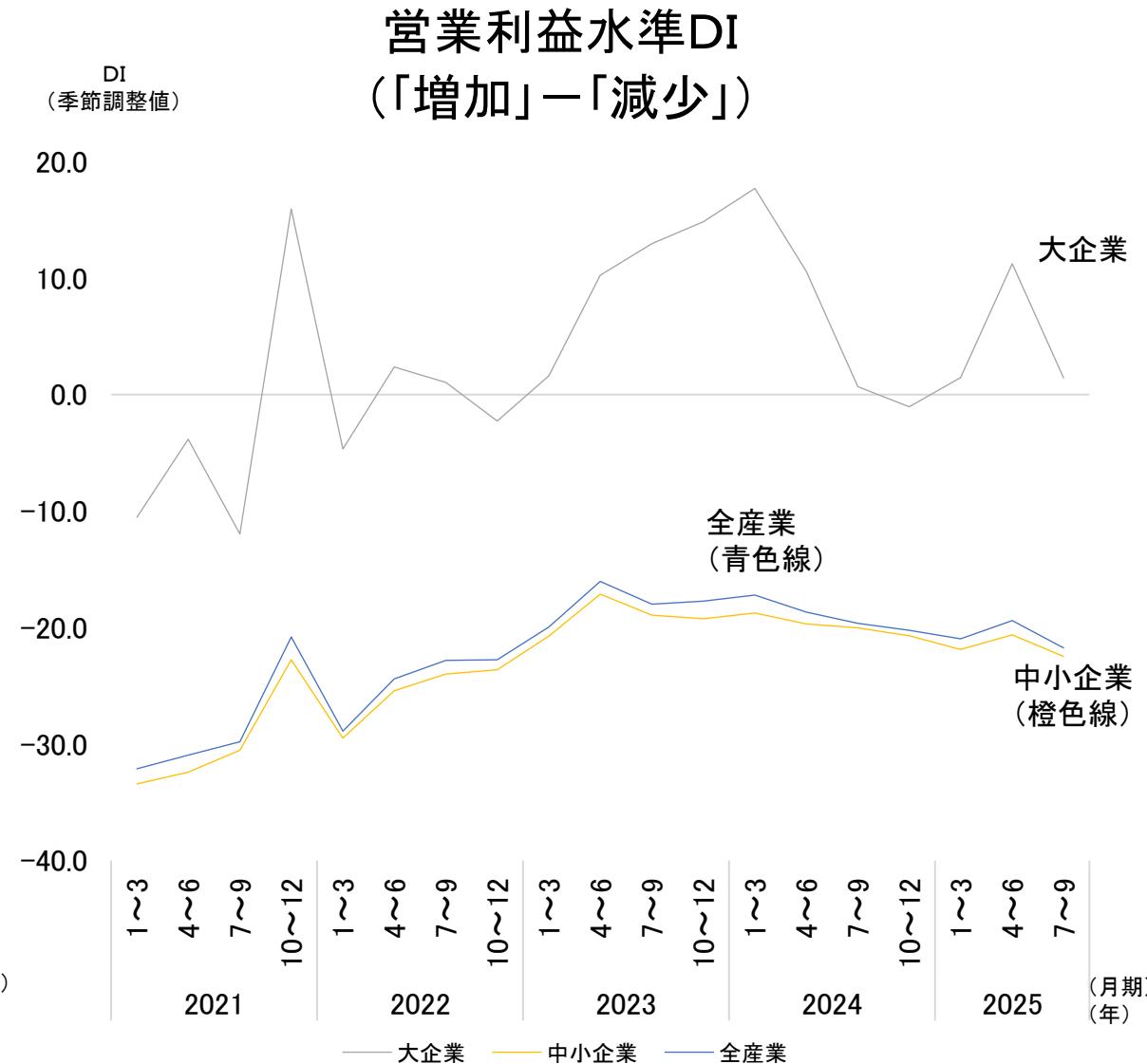
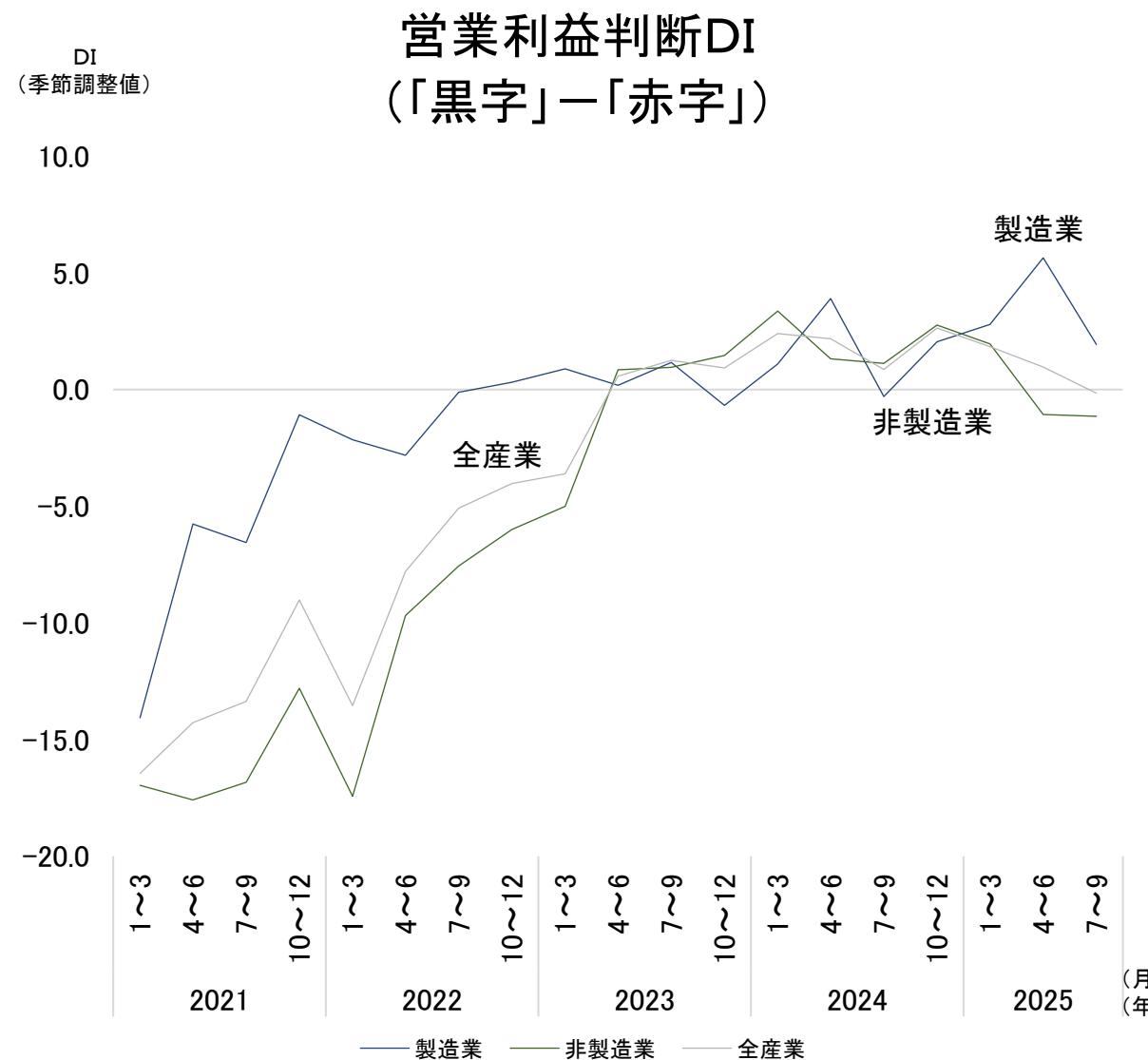


# 大阪府景気観測調査(売上高等)



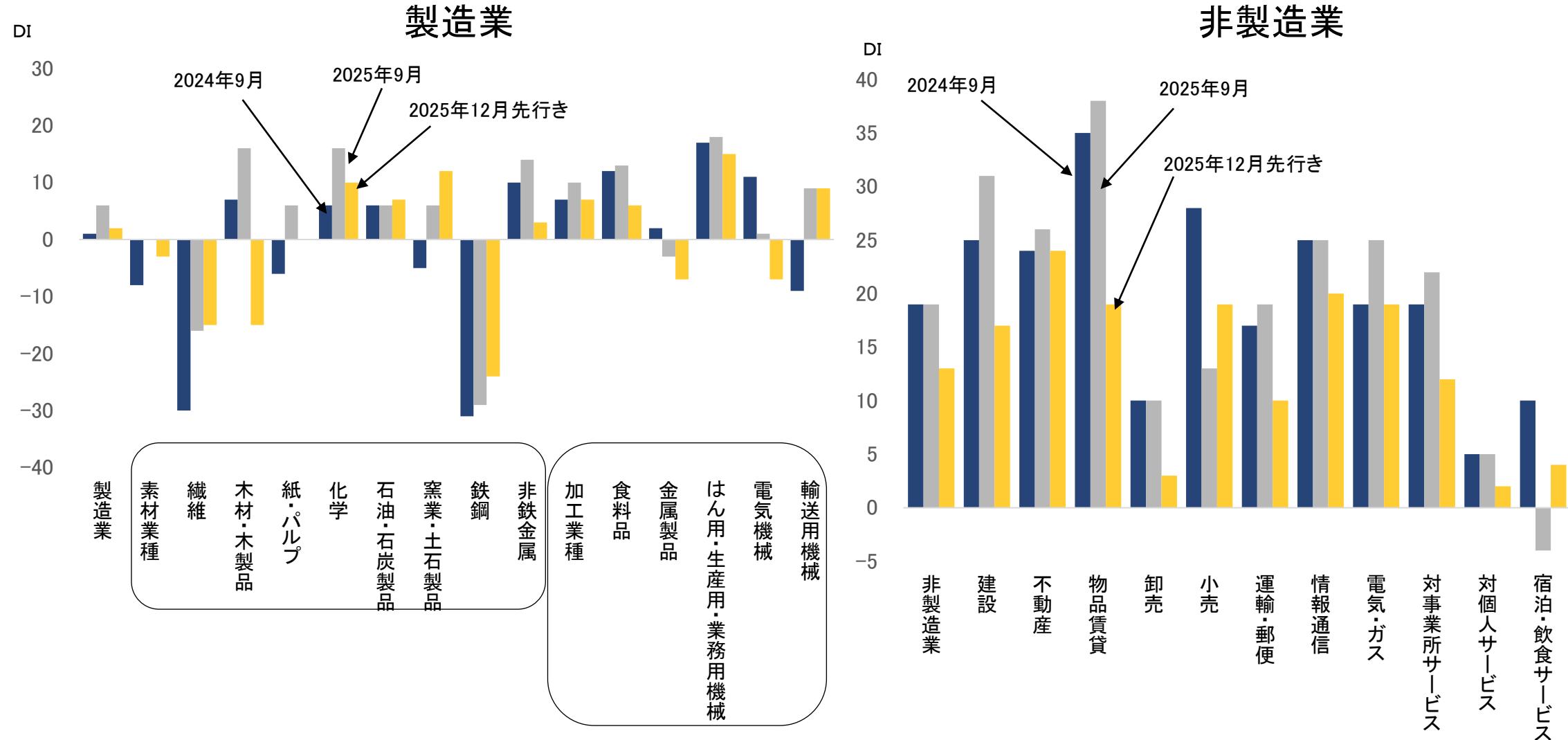
出所:大阪府商工労働部 大阪産業経済リサーチセンター「大阪府景気観測調査」

# 大阪府景気観測調査(営業利益)



出所: 大阪府商工労働部「大阪府景気観測調査」

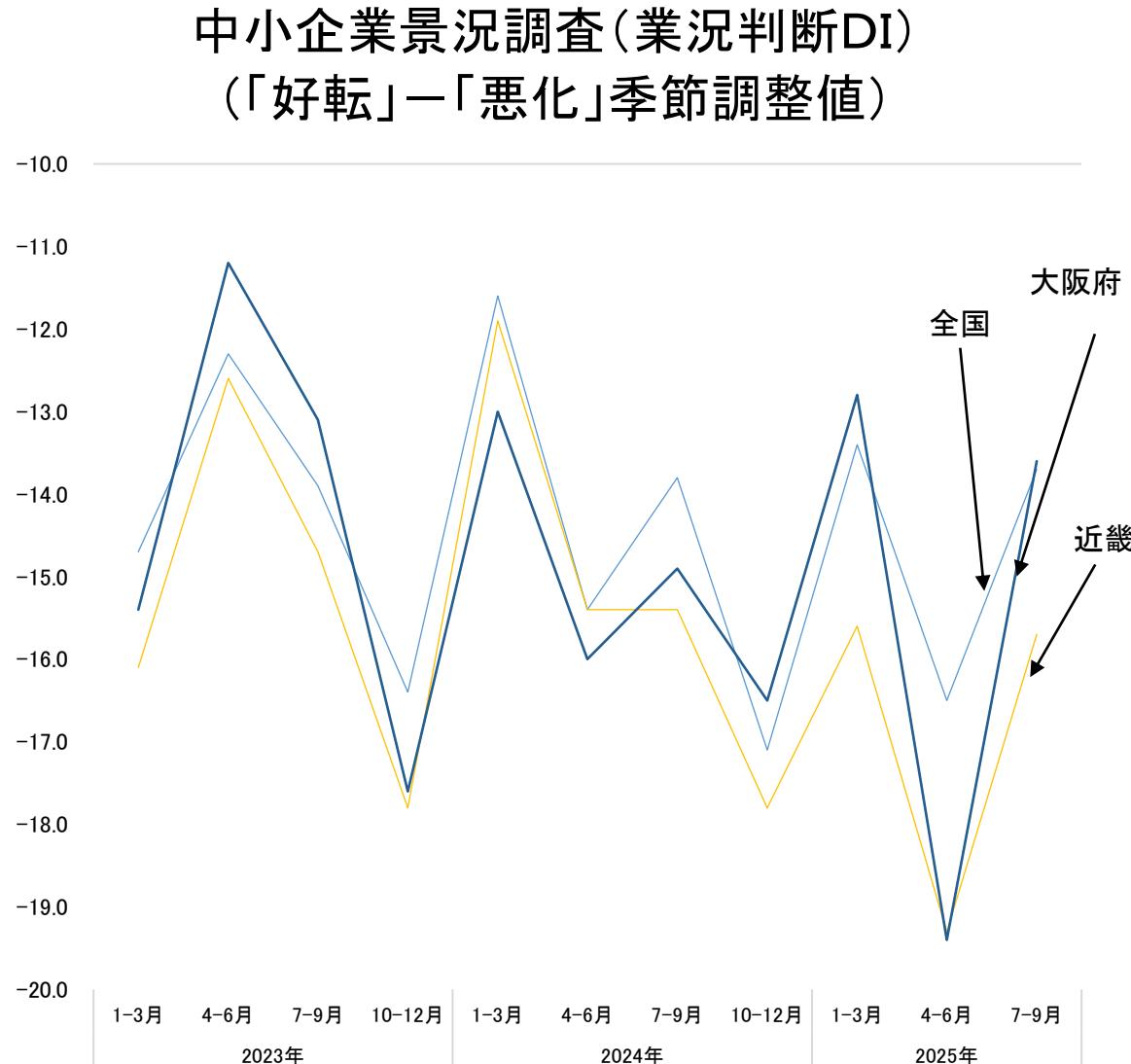
# 日銀短観(近畿地区業況判断)



出所:日本銀行大阪支店「全国企業短期経済観測調査結果－近畿地区－／業況判断:「良い」－「悪い」・%ポイント)

注:2025年9月期は1,342社が回答(大企業21.0%、中堅企業28.2%、中小企業50.7%／製造業50.9%、非製造業49.1%)。

# 中小企業・地域企業の景況

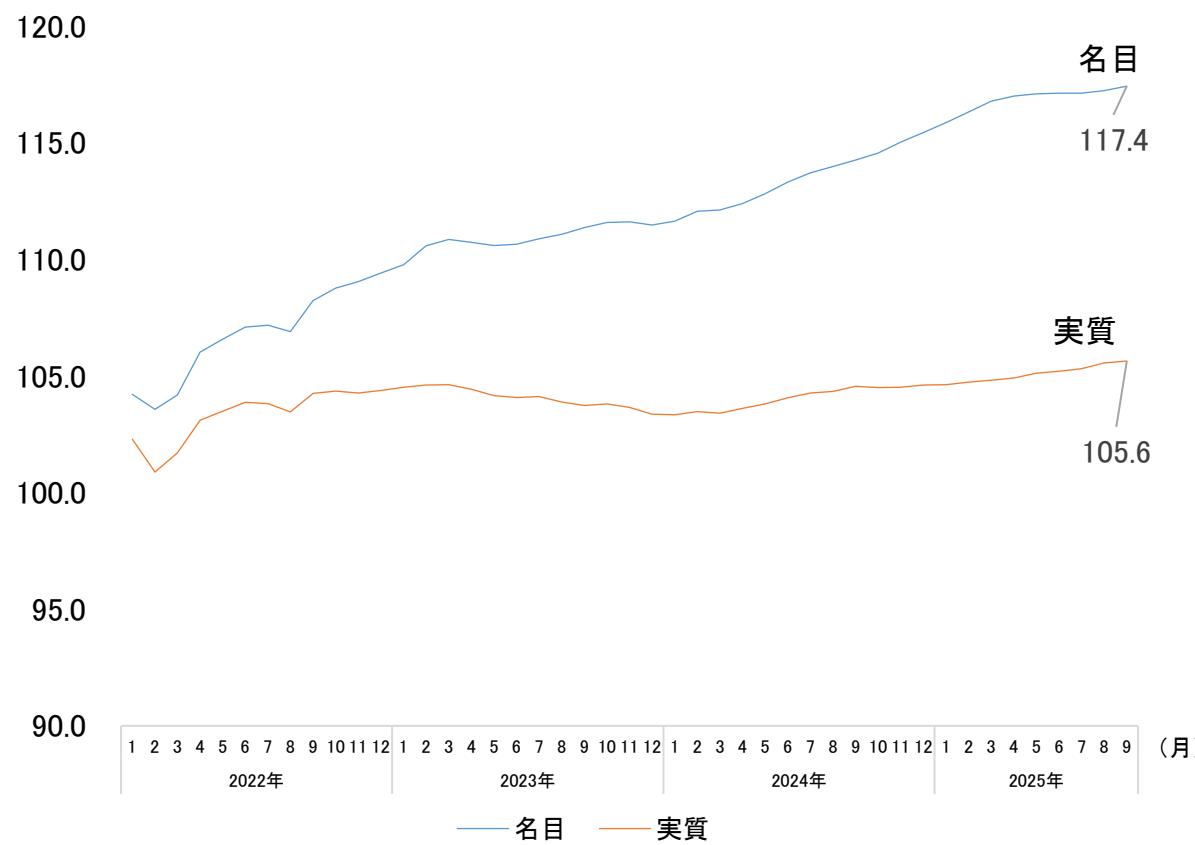


独立行政法人中小企業基盤整備機構「中小企業景況調査(前期比季節調整値版)」

府内各機関の景況調査結果
● <a href="#">東大阪市内企業景気動向調査</a> (東大阪商工会議所) 【6月期時点】「一進一退の景況 拗えぬ米関税の不透明感」
● <a href="#">経営・経済動向調査</a> (大阪商工会議所・公益社団法人関西経済連合会) 【7~9月期の自社業況】前期から「上昇」23.7%、下降18.8%。業況判断は42期ぶりにプラスに。10~12月期と2026年1~3月期の先行きはプラス維持の見通し。
● <a href="#">地域経済動向調査</a> (枚方市) 【1~6月】原材料価格が、出荷・売上高を抑制。営業利益や資金繰りは横ばい傾向が続き、改善・好転に至っていない。
● <a href="#">中小企業動向調査</a> (大阪シティ信用金庫) 【7~9月期】総合業況判断DIは、3期ぶりに悪化。中小企業の景況感に足踏み感が強まっている。
● <a href="#">中小企業の景気動向調査</a> (大阪信用金庫) 【7~8月実績・9月予想】売上DI、収益DIとも、前回調査時の7~9月期の見通しよりも下振れ。10~12月期は年末商戦への期待も。

# 需要:消費支出

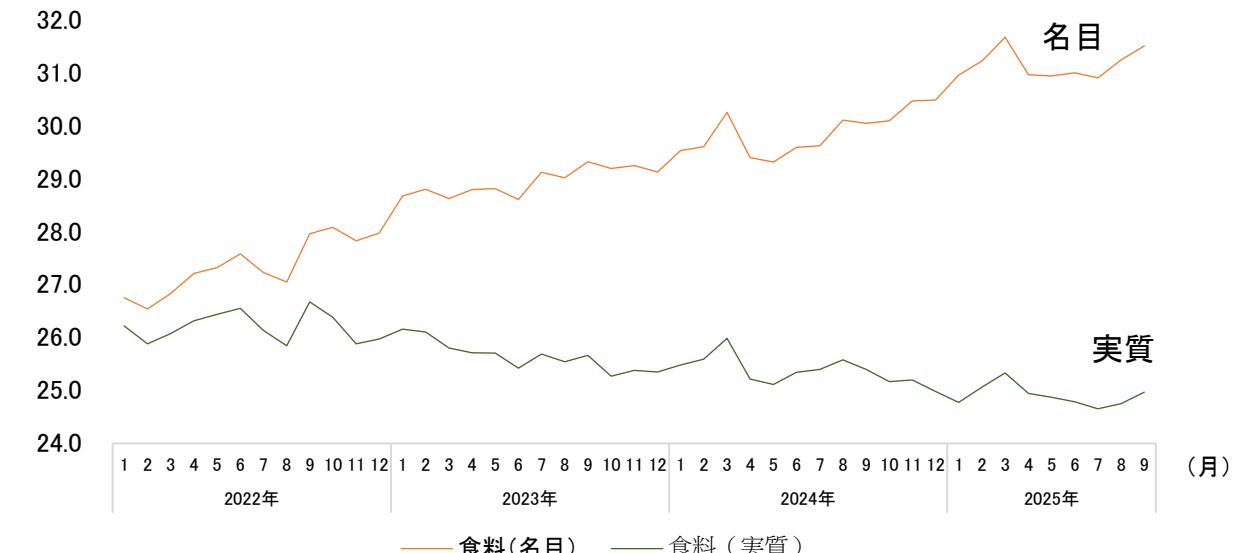
総消費動向指数(季節調整値)  
(2020年=100)



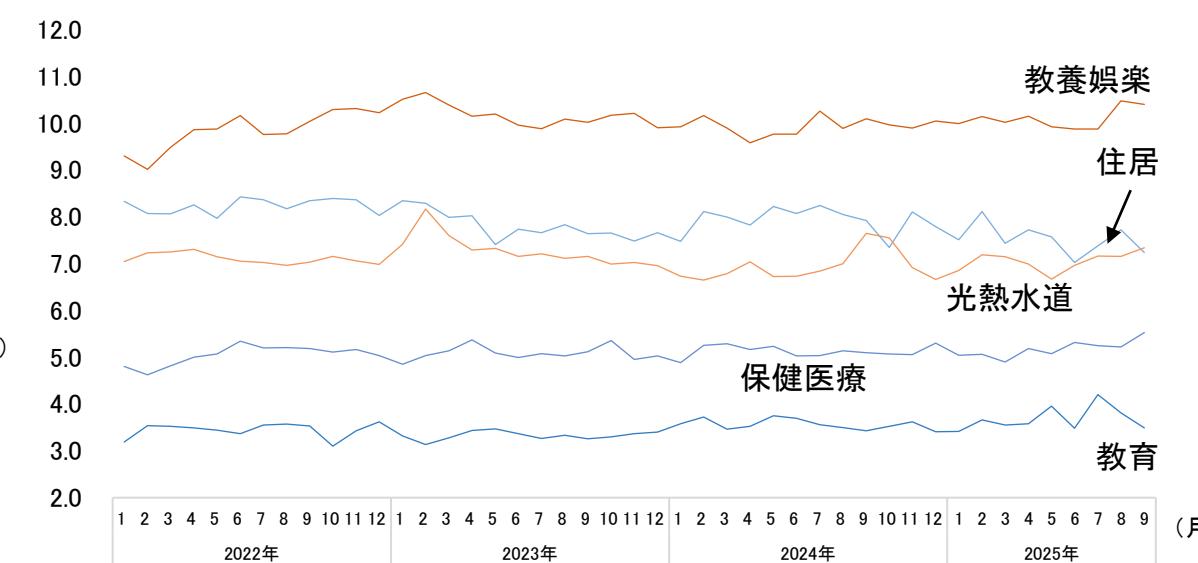
出所:総務省統計局「総消費動向指数」

注:世帯全体の消費支出総額を表す指標。世帯数の増減等の影響を含む。

世帯消費動向指数(食料・名目と実質)

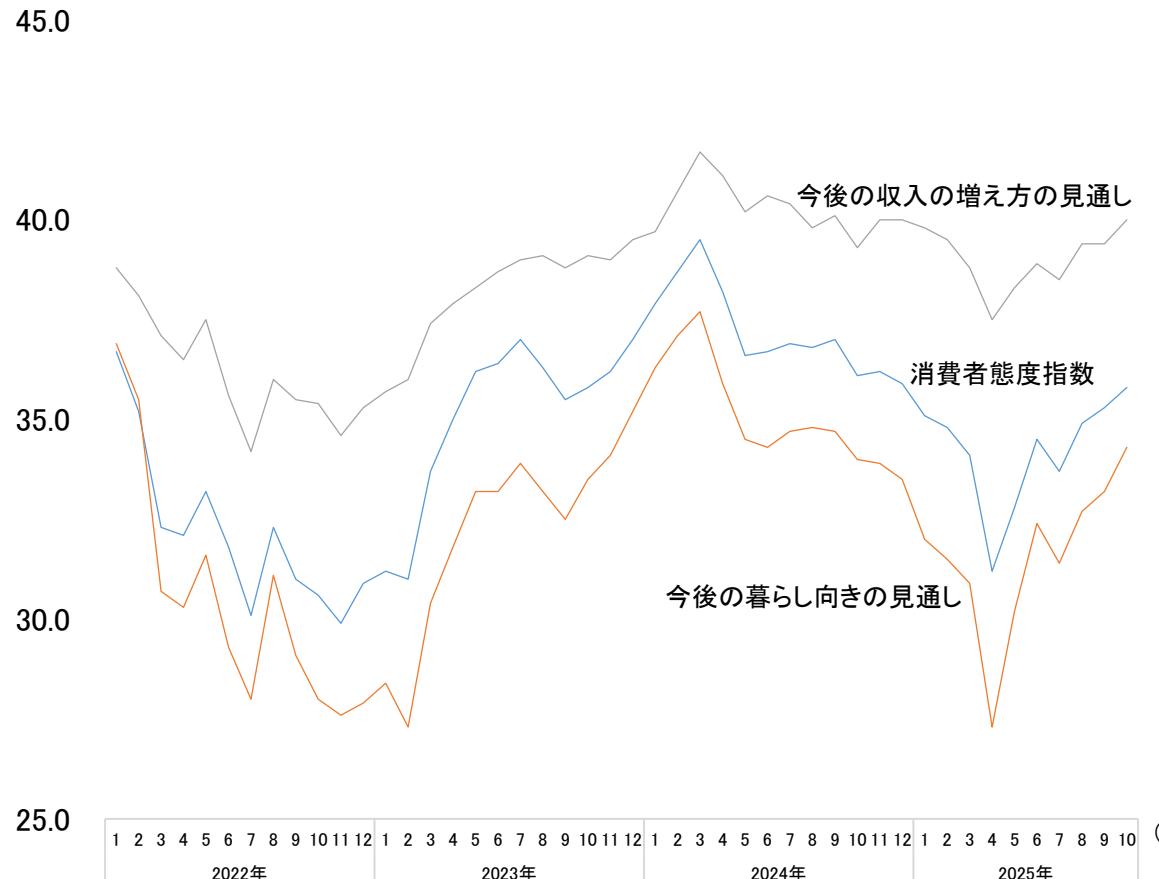


世帯消費動向指数(費目別・実質)



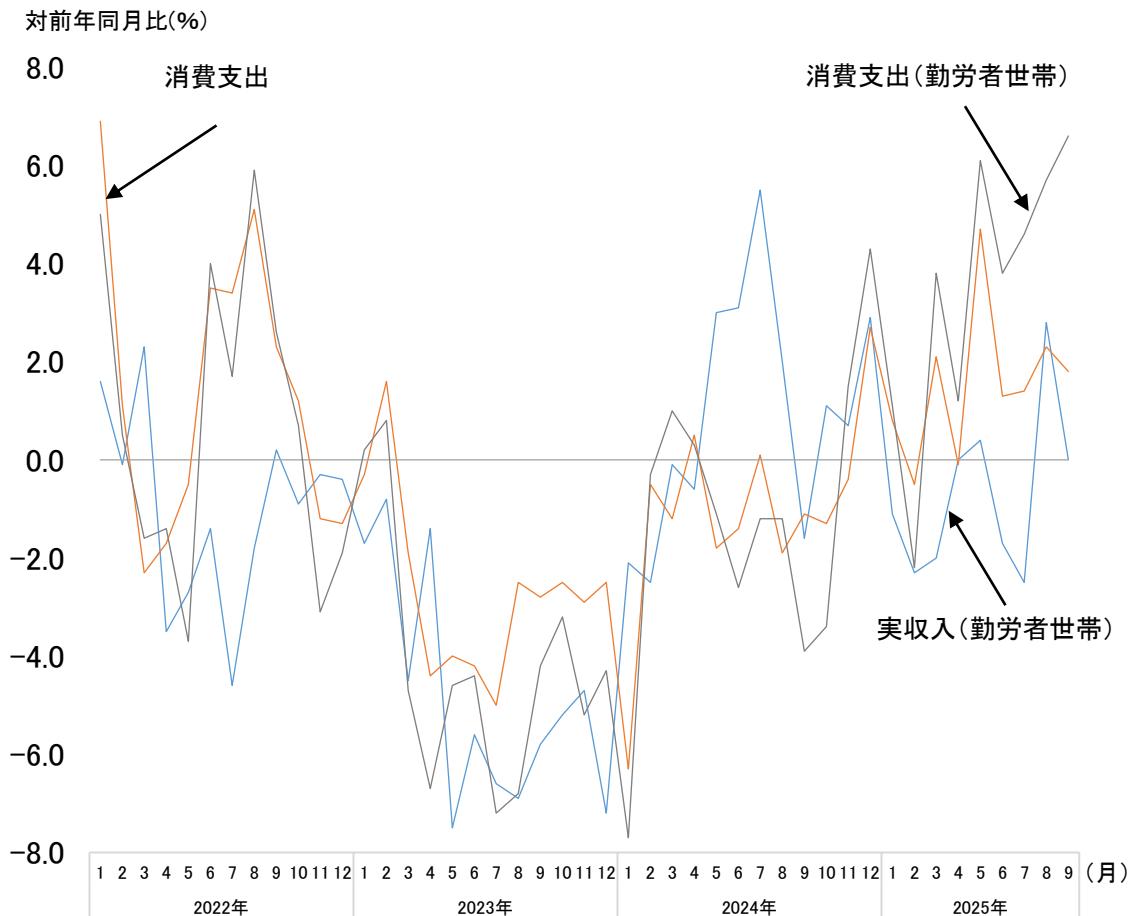
# 需要:消費者の見通し(持ち直している)

消費者態度指数・暮らし向き・収入  
(二人以上の世帯・季節調整値)



出所:内閣府「消費動向調査」

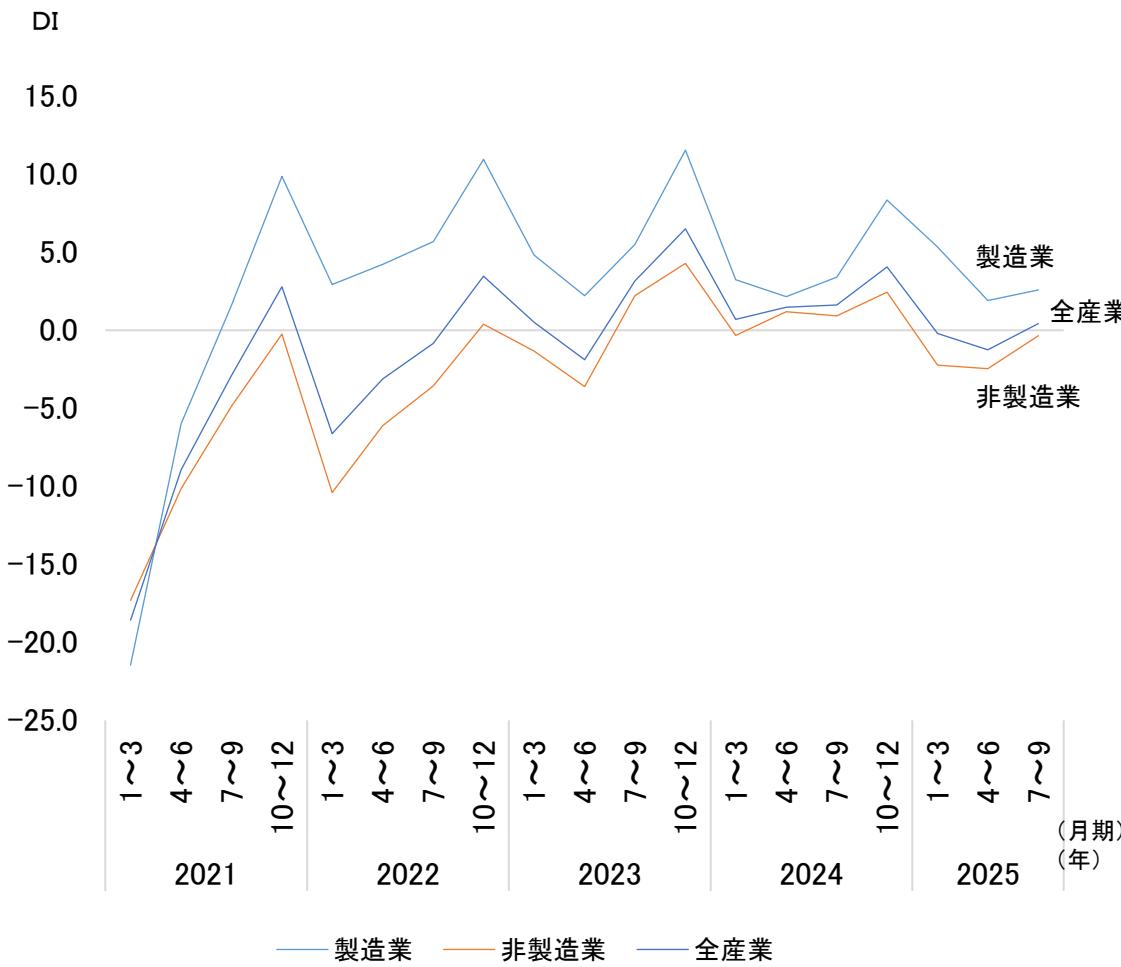
実収入と消費支出(実質増減率)



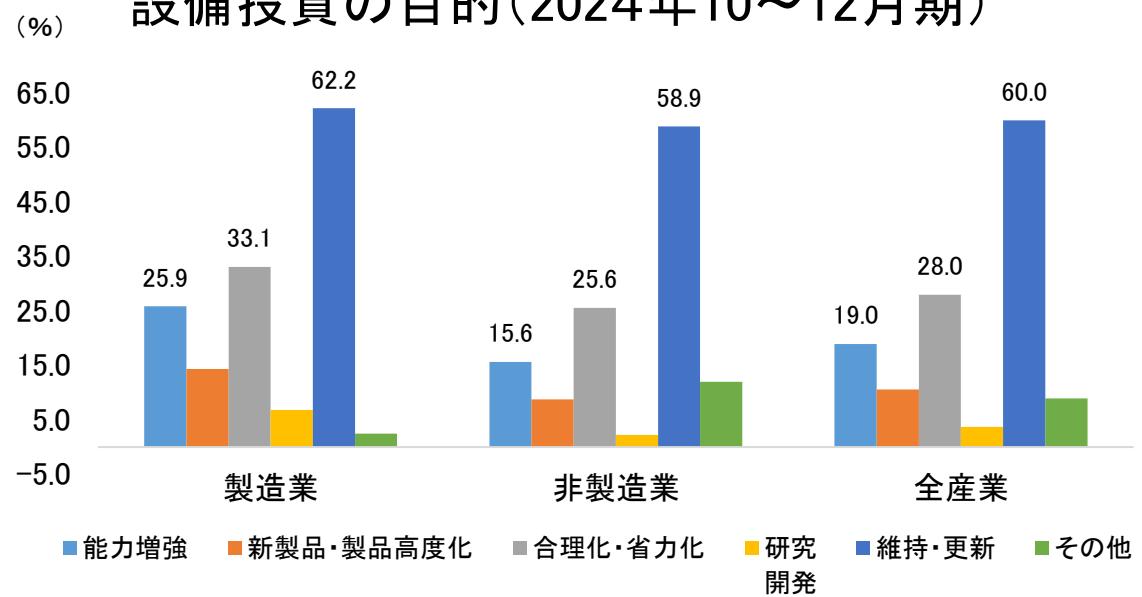
出所:総務省統計局「家計調査(家計収支編) 時系列データ(二人以上の世帯)」

# 需要:投資(大阪府景気観測調査)

## 設備投資DI(「増加」-「減少」)



## 設備投資の目的(2024年10~12月期)



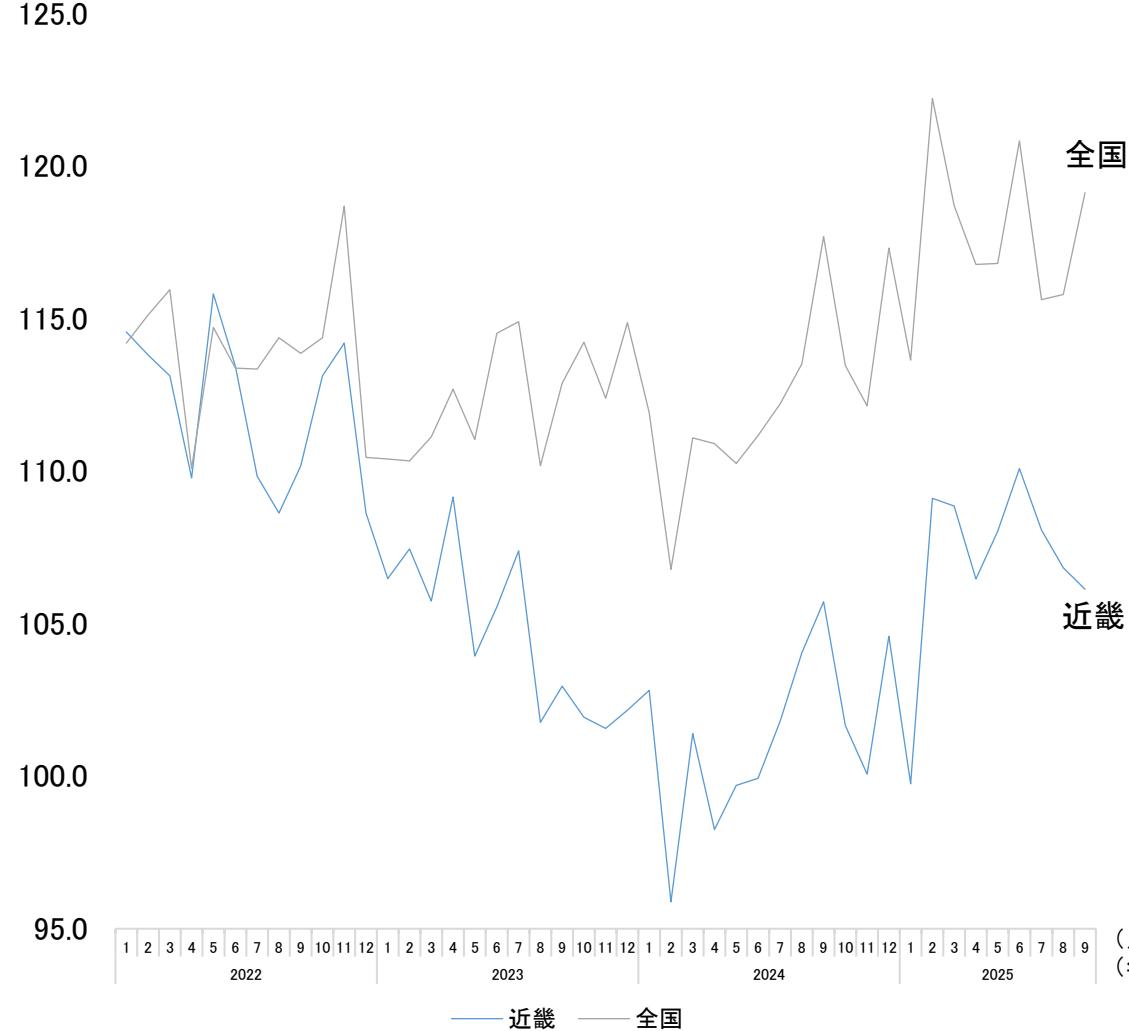
## 設備投資の目的(前年同期差で増加した目的)

業種	目的	2024年	前年同期差
製造	維持・更新	62.2%	6.7ポイント
建設	研究開発	1.1	1.1
情報通信	合理化・省力化	33.3	16.6
運輸	合理化・省力化	20.0	9.2
卸売	合理化・省力化	35.6	7.8
小売	新製品・製品高度化	15.4	10.7
不動産	合理化・省力化	13.8	5.8
飲食店・宿泊	維持・更新	65.9	3.4
サービス業	新製品・製品高度化	10.5	0.5

# 需要:貿易(輸出)

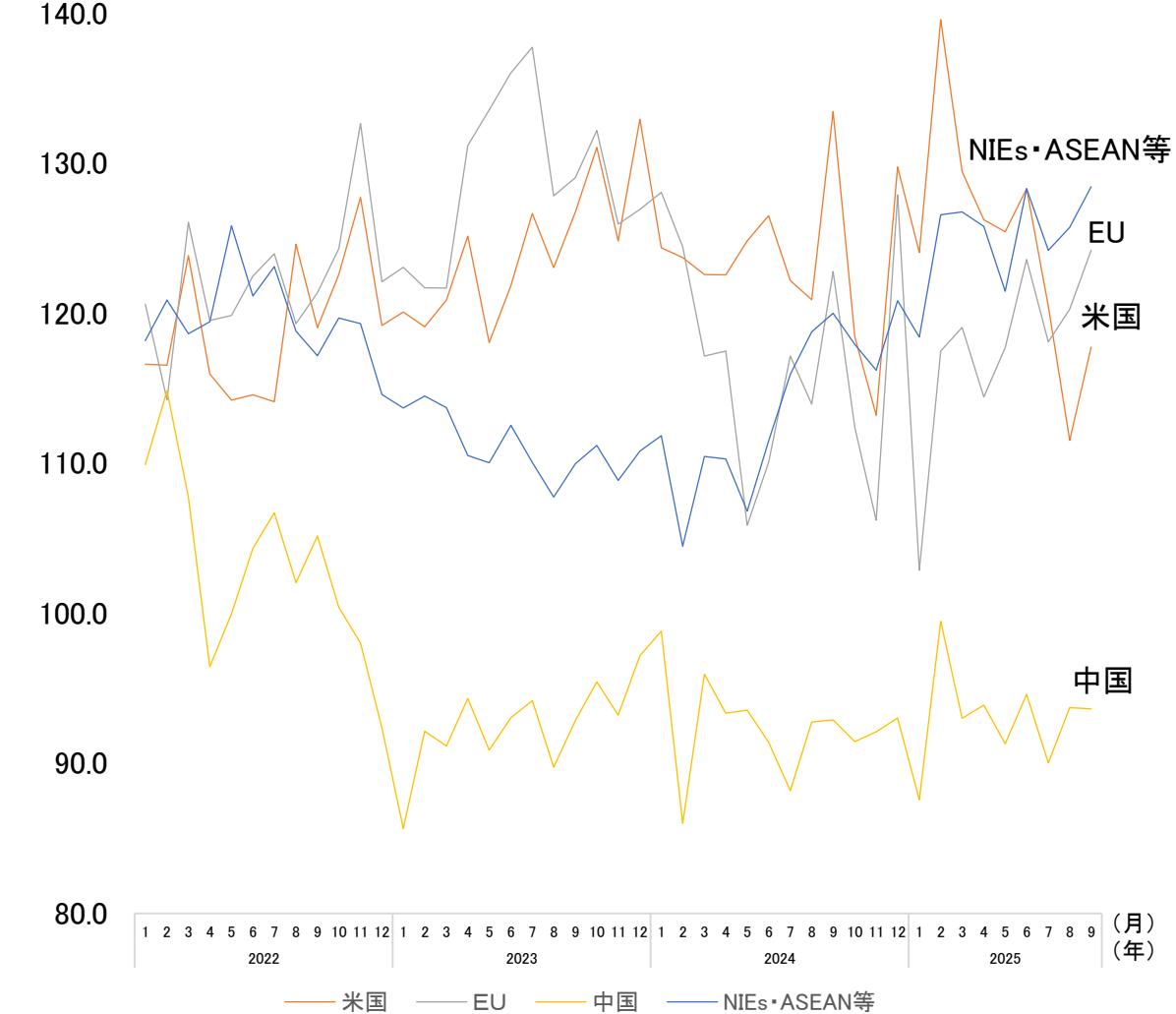
季節調整済  
2020年=100

## 実質輸出(全国・近畿)



季節調整済  
2020年=100

## 実質輸出(全国／地域別)



出所:日本銀行大阪支店「実質輸出入(近畿地区・全国)」、日本銀行「実質輸出入の動向」 ※実質輸出:価格変動の影響を除いた実質的な価値ベースでの輸出の動き

# 供給:生産:(鉱)工業指数

生産指数(全国・近畿・大阪府)

全国の生産は一進一退

(2020=100)  
110.0

105.0

100.0

95.0

90.0

85.0

80.0



在庫指数(全国・近畿・大阪府)

(2020=100)

115.0

110.0

105.0

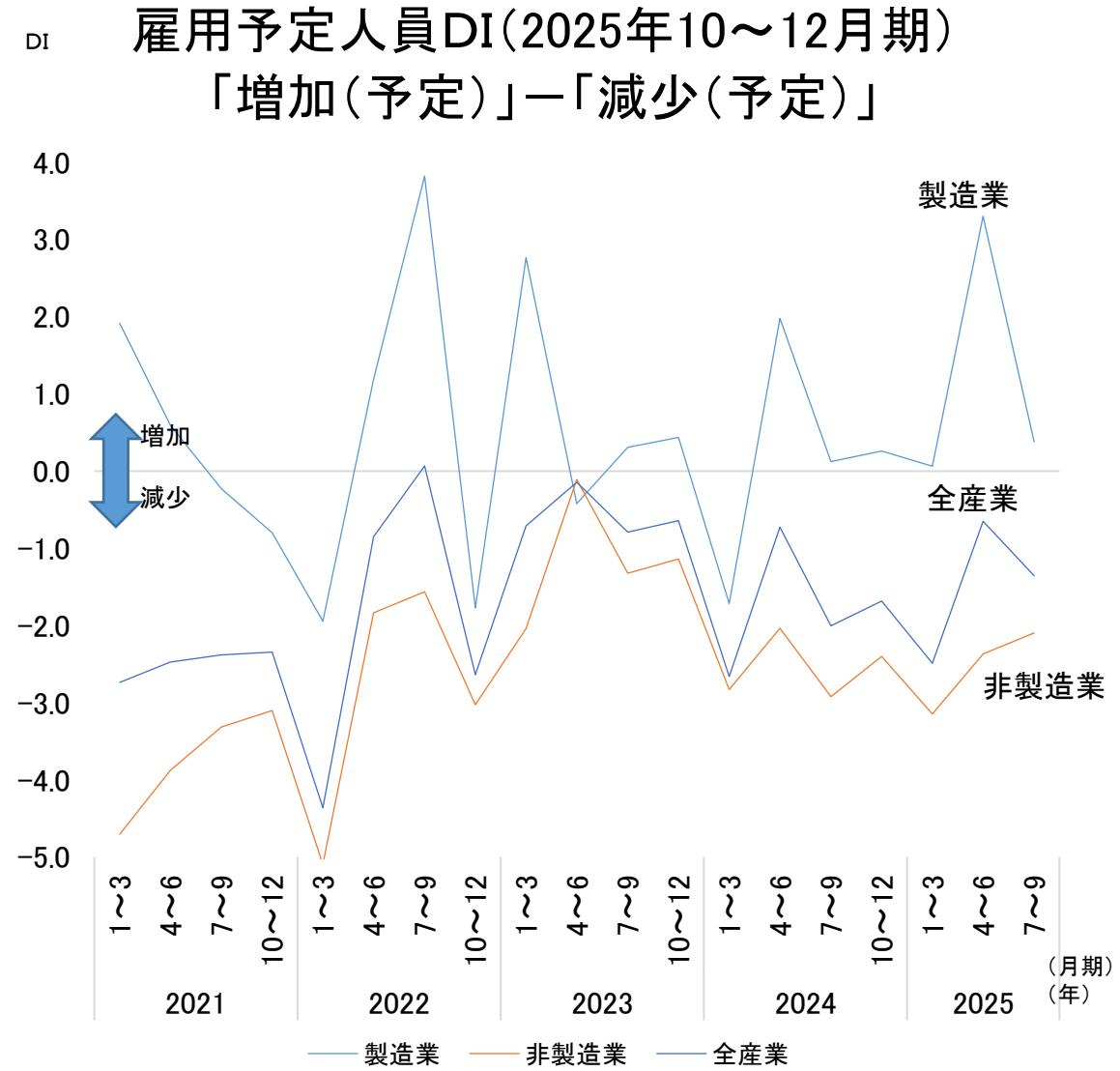
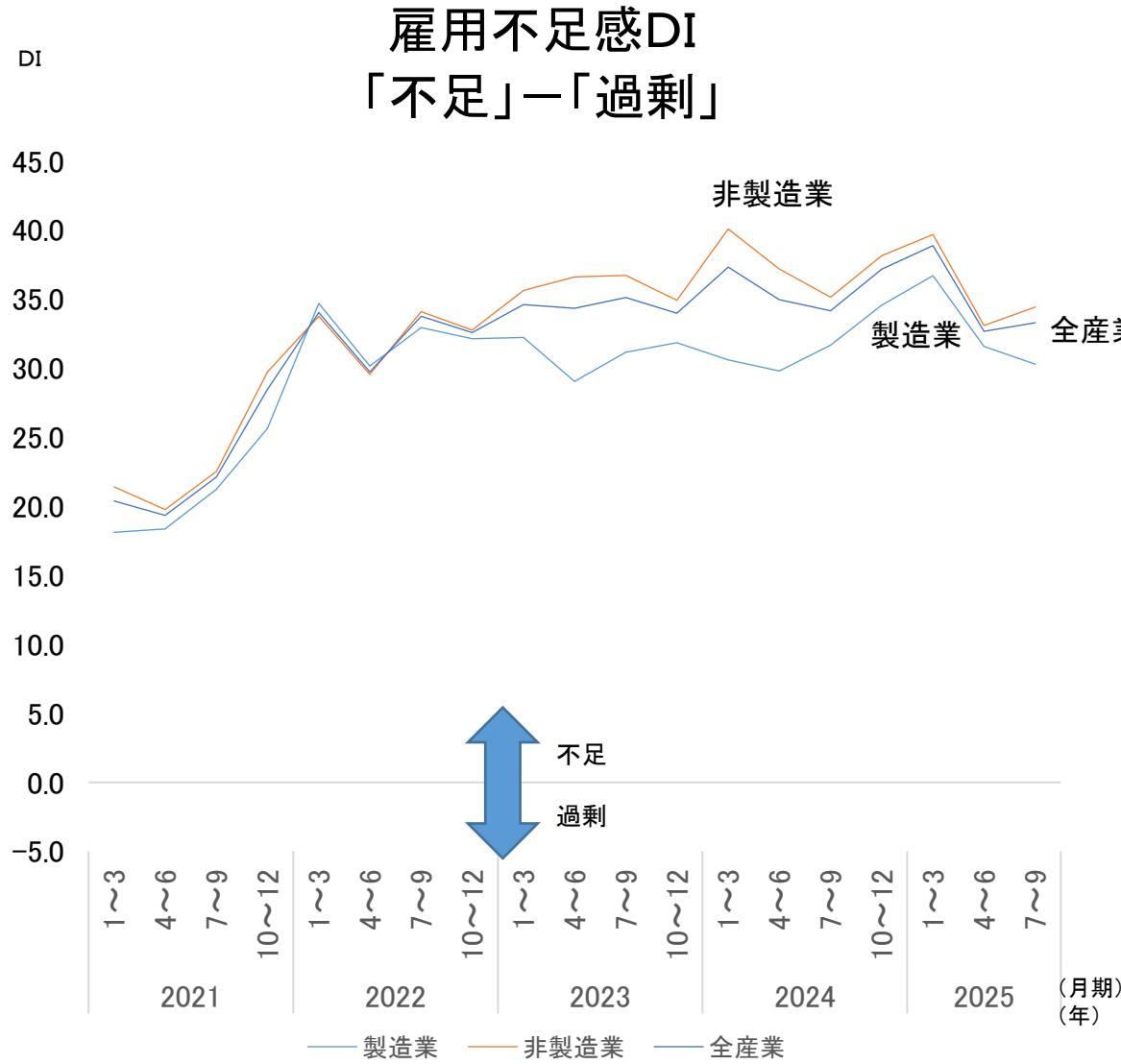
100.0

95.0

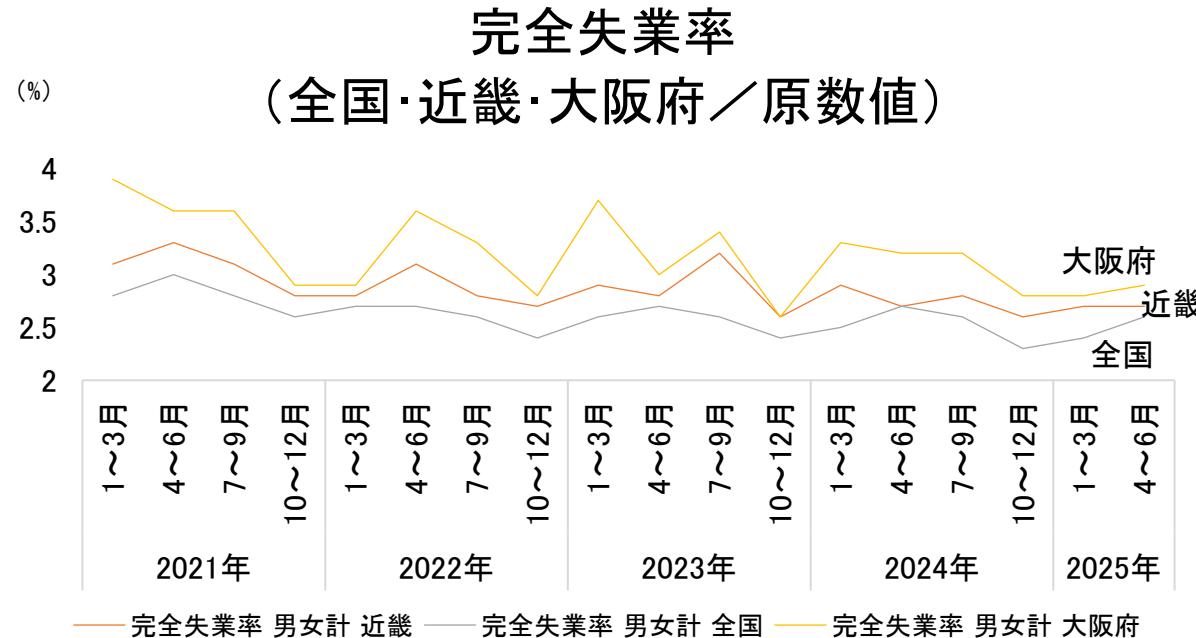
90.0



# 雇用(大阪府景気観測調査)

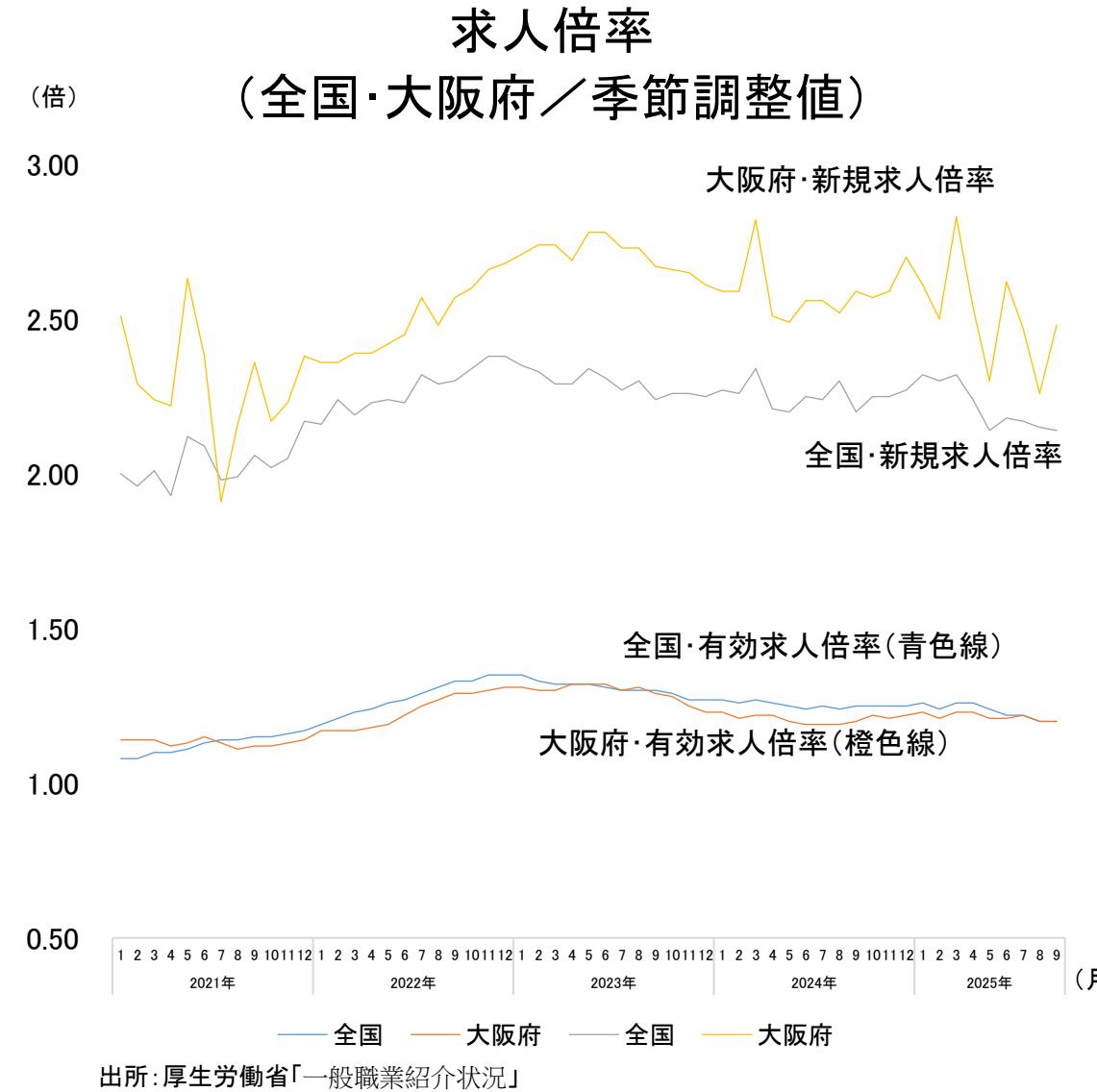


# 雇用(失業、求人):改善の動きが弱まっている



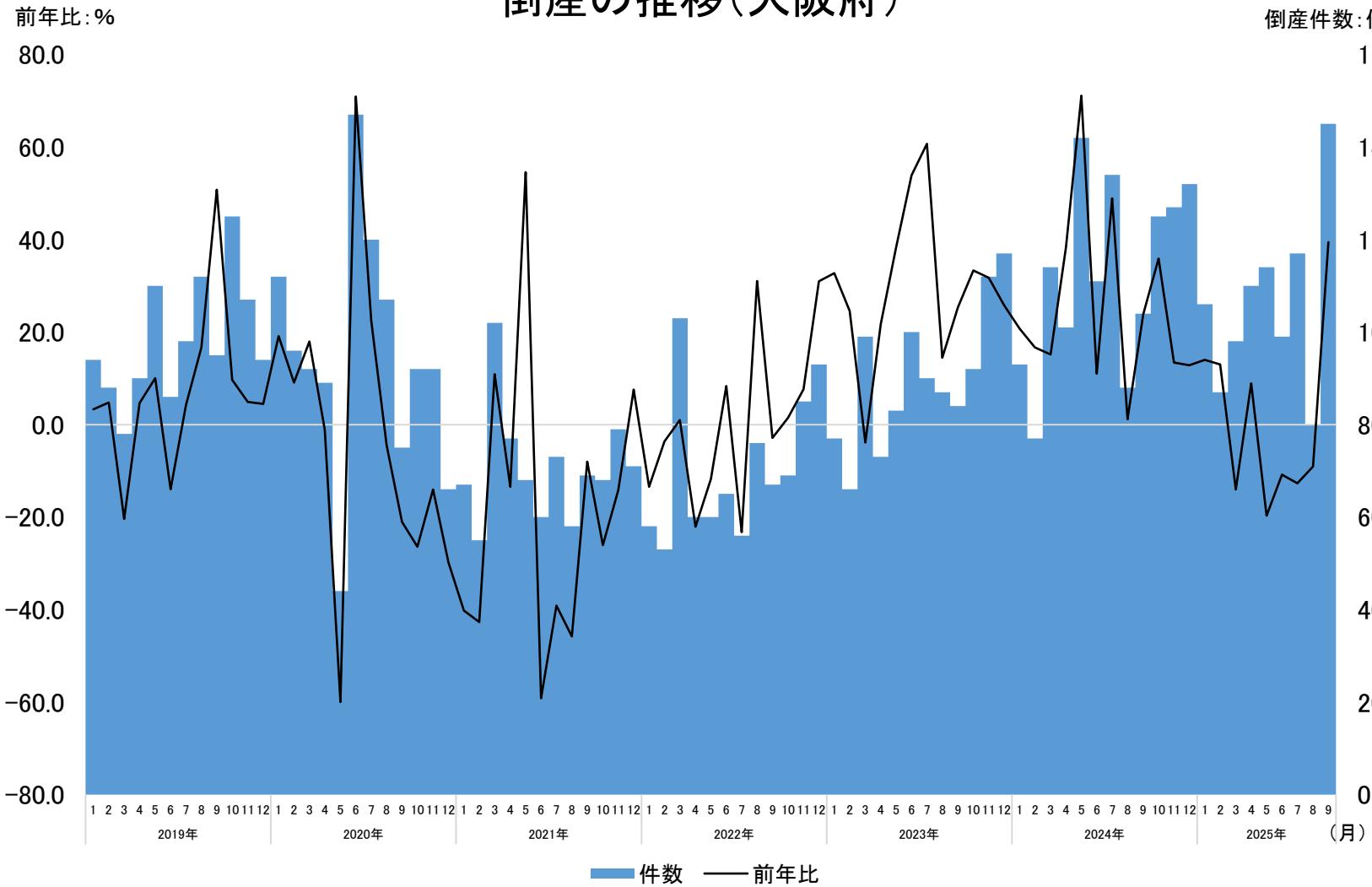
2025年9月の有効求人倍率(原数値/人)と有効求人倍率(倍)					
職業	有効求人倍率	職業	有効求人倍率	職業	有効求人倍率
サービス	48,519人	3.23倍	輸送・機械運転	9,611	2.19
専門技術	39,617	1.68	建設・採掘	7,354	5.46
介護関連	26,845	4.42	保安	6,394	5.14
運搬・清掃等	16,149	0.76	農林漁業	360	0.67
事務	16,078	0.39	管理	354	0.67
販売	14,264	1.59	職業計	169,428	1.09
生産工程	10,728	1.51			

出所:総務省統計局「労働力調査」、大阪府総務部統計課「労働力調査地方集計結果」、大阪労働局「大阪労働市場ニュース」



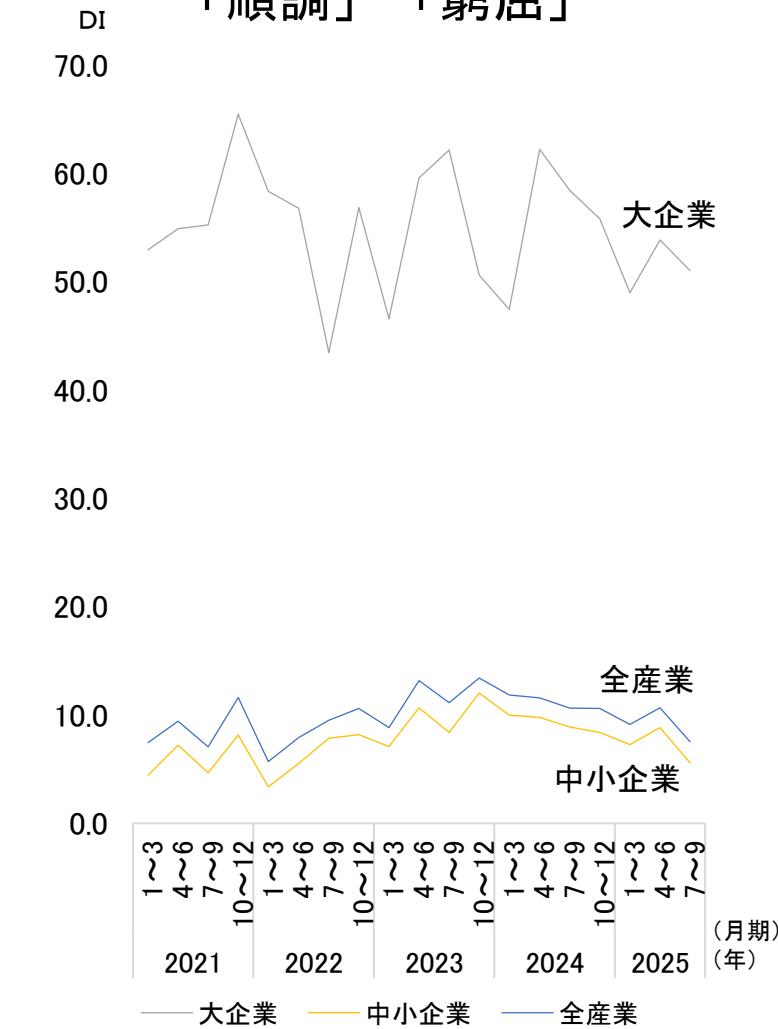
# 供給:倒産・資金繰り

倒産の推移(大阪府)



出所:東京商エリサーチ「倒産月報」。

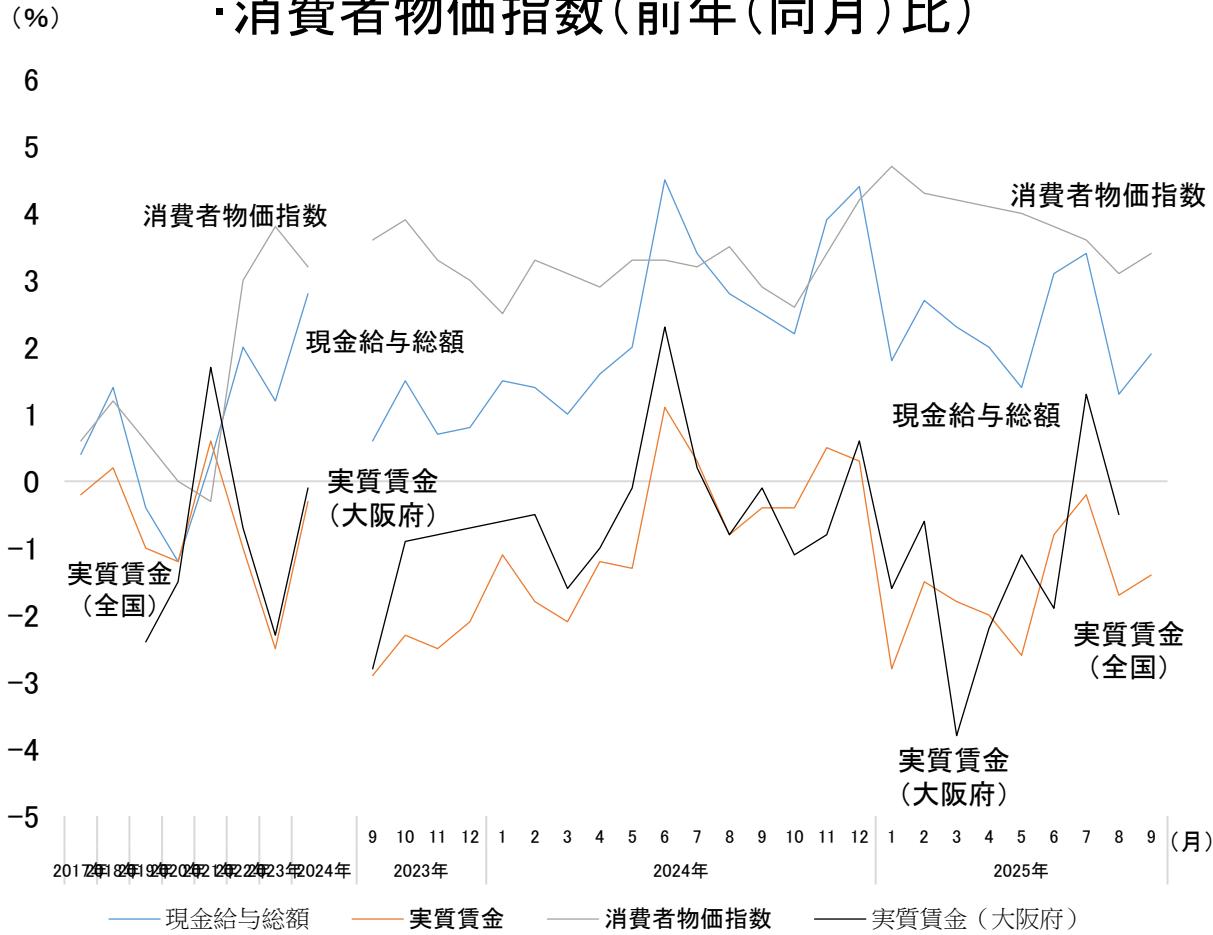
資金繰りDI(大阪府)  
「順調」—「窮屈」



# 賃金・物価

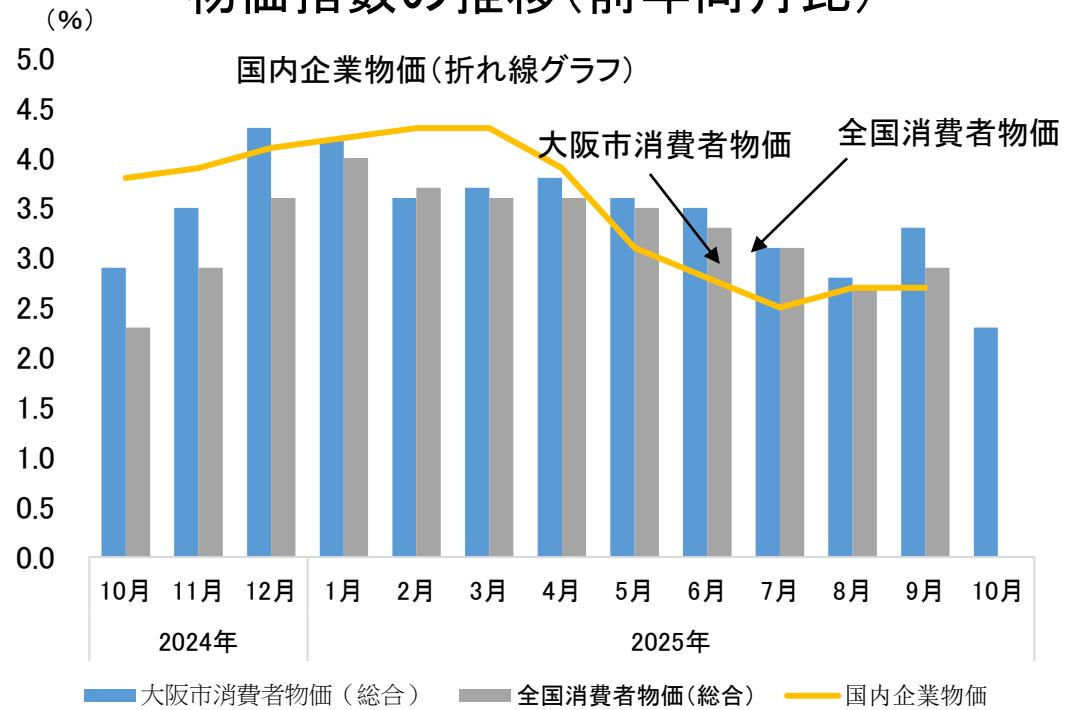
## 現金給与総額・実質賃金(現金給与総額)

### ・消費者物価指数(前年(同月)比)



出所: 厚生労働省「毎月勤労統計調査」、総務省「消費者物価指数」  
注: 消費者物価指数は、持家の帰属家賃を除く総合の前年(同月)比。

## 物価指数の推移(前年同月比)



## 費目別前年同月比(大阪市)

(%)	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養・娯楽	諸雑費
2025年9月	3.3	6.5	1.2	3.7	3.3	1.7	0.9	3.3	-2.5	2.2	0.1
2025年10月	2.3	5.1	0.7	-4.2	5.5	2.1	0.4	3.9	-2.5	2.9	0.6

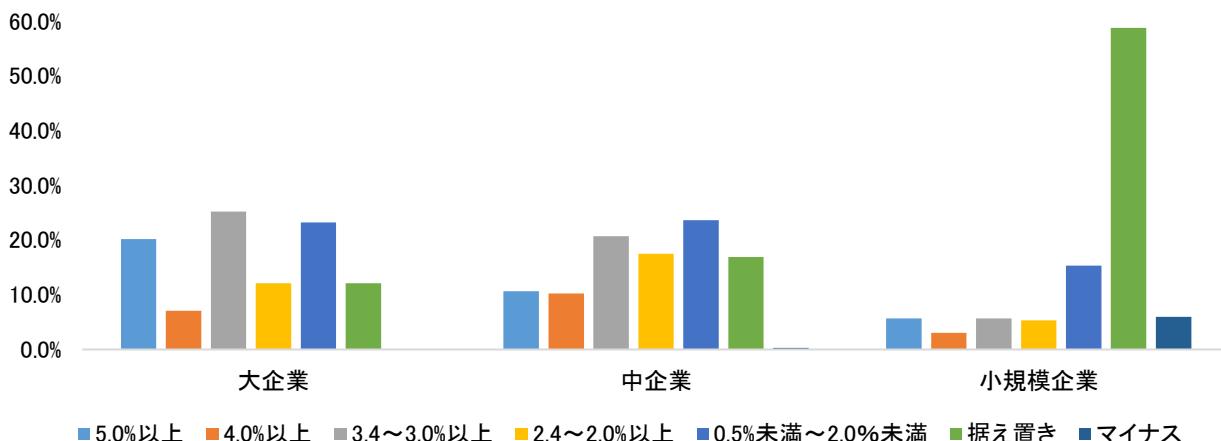
出所: 総務省「消費者物価指数」、日本銀行「企業物価指数」、大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」。

# 経営課題、企業経営の見通し

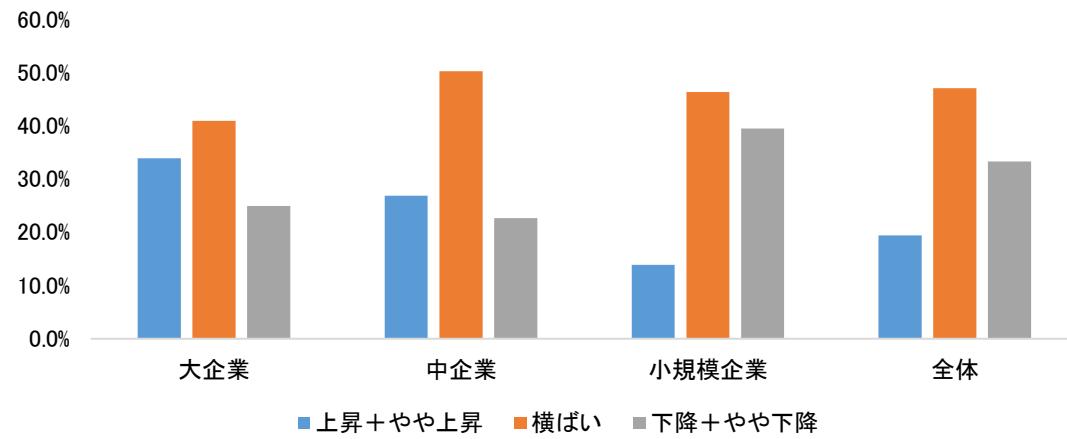
経営上の課題(「大阪府景気観測調査2025年4~6月期調査」)

	人件費上昇	経費上昇 (原材料費、人件費以外)	金利上昇	米国の関税引上げの影響		特になし
				販売・受注量減少	販売・受注価格低下	
製造業	54.5	57.4	14.7	19.9	6.4	9.9
非製造業	39.0	52.9	12.7	6.6	2.8	20.2
建設業	47.9	56.3	11.3	5.9	1.3	15.5
情報通信業	40.5	28.6	9.5	7.1	0.0	31.0
運輸業	52.6	48.7	14.1	9.0	5.1	14.1
卸売業	43.4	57.6	20.2	14.1	6.7	11.8
小売業	37.1	60.7	10.5	5.2	2.2	17.9
飲食店・宿泊業	42.3	71.2	6.3	0.9	2.7	14.4
サービス業	37.9	47.4	7.5	4.4	1.4	24.6
大企業	65.5	58.6	13.8	9.2	2.3	6.9
中小企業	42.5	54.1	13.2	10.3	3.8	17.7

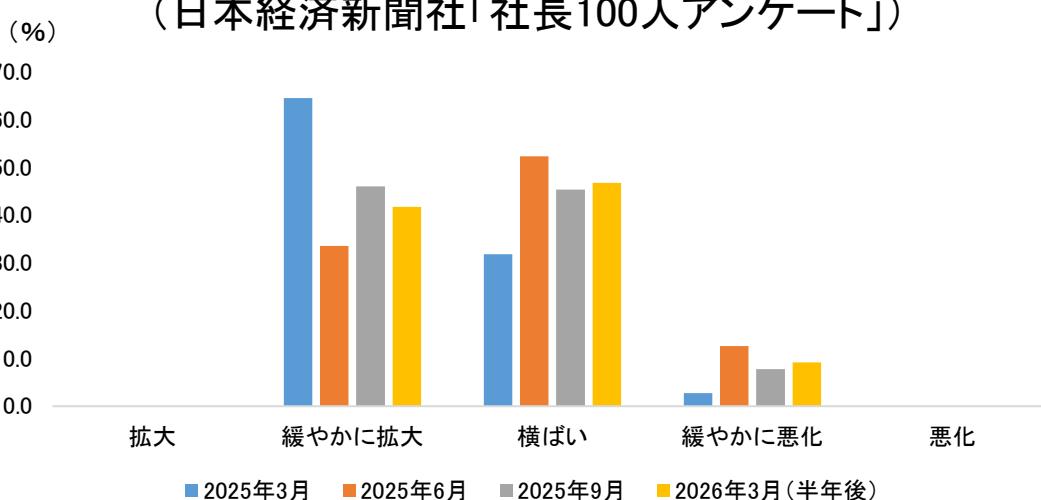
賃上げの実施状況(2025年春)  
(大阪府景気観測調査)



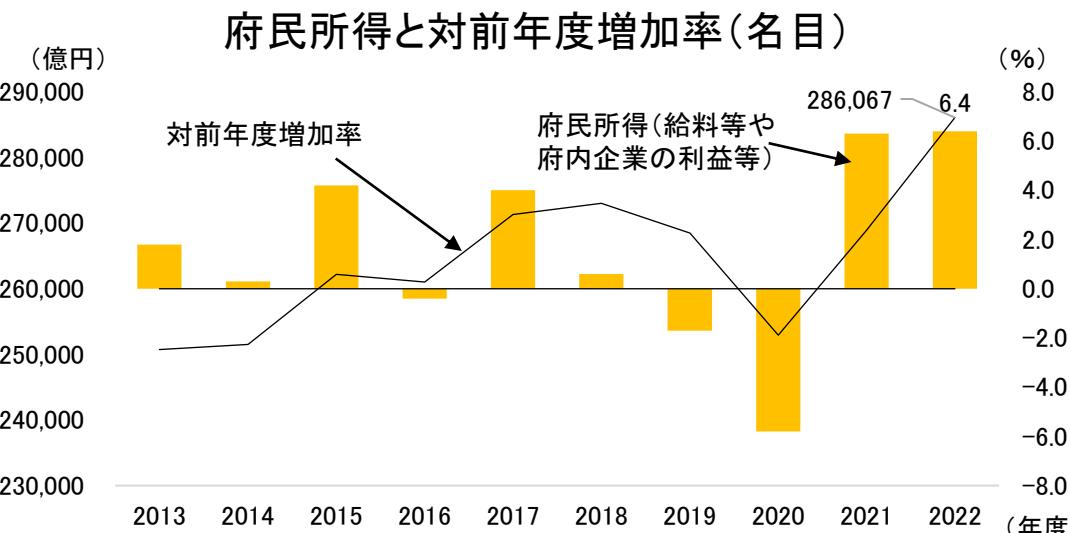
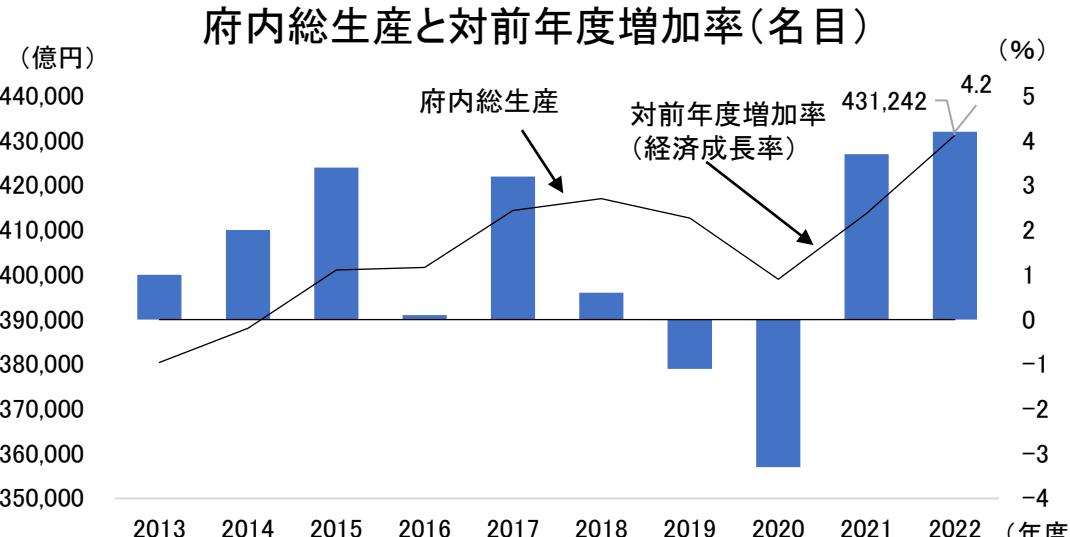
来期の業況(大阪府景気観測調査)  
(1%未満で有意差あり)



国内景気(現状と半年後の認識)  
(日本経済新聞社「社長100人アンケート」)

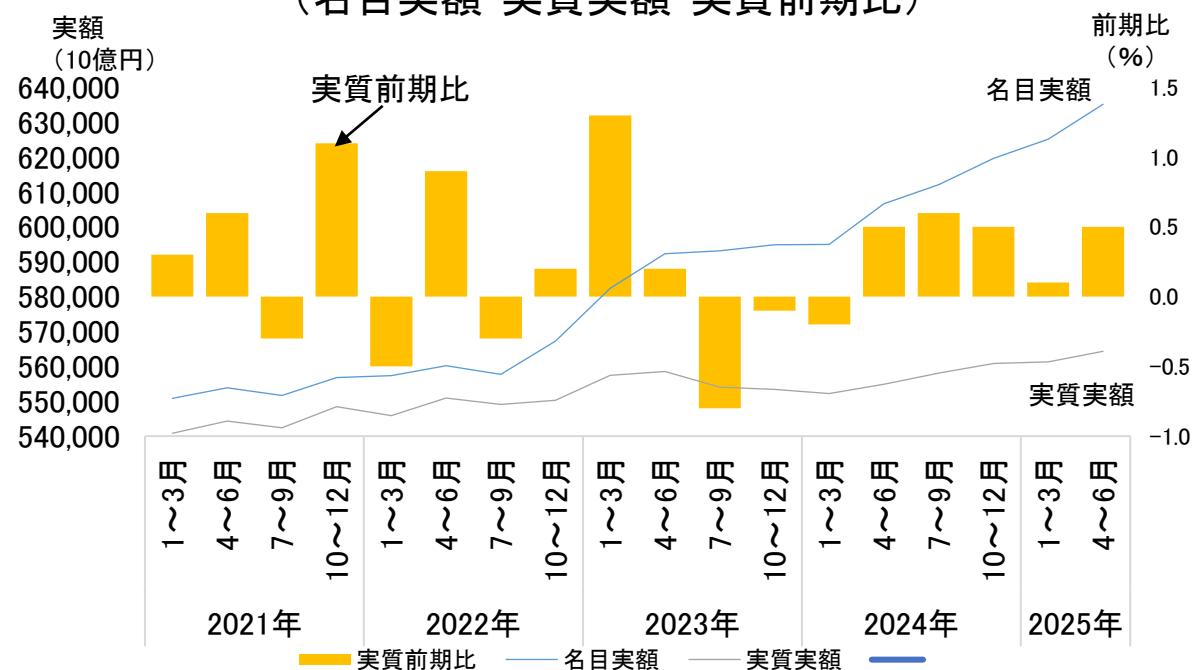


# 今後の見通し



出所:大阪府総務部統計課(2025年1月)「令和4年度 大阪府民経済計算」。  
※「県民経済計算標準方式(2015年(平成27年)基準版)」に準拠。

## 国内総生産の推移 (名目実額・実質実額・実質前期比)



出所:内閣府 経済社会総合研究所「国民経済計算(2025年4~6月期・2次速報(2025年9月8日公表)」

## 世界経済成長率年間見通し(IMF・2025年10月)

	2024年	2025年予測	2026年予測
世界	3.3%	3.2%	3.1%
日本	0.1	1.1	0.6
米国	2.8	2.0	2.1
ユーロ圏	0.9	1.2	1.1
中国	5.0	4.8	4.2
インド	6.5	6.6	6.2
ロシア	4.3	0.6	1.0

# まとめ

- 最近の大阪経済の動向は、複合した下振れの懸念材料もあって弱い動き。
- 大阪・関西万博の現下の経済への影響は限定的とみられ、直接の影響が想定される産業の声は冷静で、むしろ、今後の事業展開を真摯に考える姿勢がみられる。今後への期待感もうかがえる。
- 大企業と中小企業(特に小規模企業)で業況に差がみられる。大企業では人材や設備への投資の充実を図り、新たな事業展開の可能性を模索している。中小企業のなかにも、ソリューション型の事業展開を模索し変革に取り組む動きがみられる。